京城日報

廿五日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢
廣告料
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

○對支交渉進捗せず

鄭家屯事件に關する談判は支那政府が今尚ほ考慮中にて未だ何等の發展を見ず當局者たる外交總長陳錦濤氏は病氣して天津に在り正式外交總長たるべき唐紹儀氏も亦天津に滯留して何日上京すべしとも見込つかず我が外務當局は唐紹儀氏上京を待つて談判を進捗せしめんと欲するが如き意嚮あるを以て此の事件は容易に決定を見ざるべし（東京特電）

○青木中將招聘中止

陸軍中將青木宣純氏を支那政府軍事顧問に招聘するの件は反對多く當分招聘は之れを見合すに決定せりと傳へらる（北京特電）

○徐州會議の決議事項

張勳統裁の徐州會議は去る廿日より正式會議を開催せるが該會議に於て政府監督國會監督の件及び各省省長を民選とするに反對すと決議せりと（北京特電）

○佛國社會黨大會の決議

下院議員キアンタル一派の主張に反抗せんとて聯合せる佛國社會黨の大會は同黨が總ての領土的要求を爲さゞるを條件として國防の爲めに全力を盡すべしとの宣言を發表するに決せり（巴里電報）

○ドブルヂア戰闘の經過

羅馬尼軍總司令部附タイムス特派員二十一日附の所報に曰く、ドブルヂアの戰闘は羅馬尼開戰以來の羅軍戰線に於ける最も重要なるものなり敵の目指す所はコンスタンザなるツエルナヅオグ橋頭堡壘にして敵はツトラカンの陷落後此目的の爲めに利用し得べき限りの兵力を此の戰線に繰り出したり戰闘は去る十六日より開始せられ引き續き五日に亙れり敵は必死となりて聯合軍の陣地を突破せんと具さに苦心したれども聯合軍は毅然として屈せず援軍の到著を待ちたる後二十日優勢なる部隊を以て逆襲に出で敵を南方に驅逐せり敵は道々の村落を燒きつゝ退却せり（倫敦電報）

○ヘーグ軍更に進出す

二十三日午後發表ヘーグ將軍の公報に曰く二十二日夜アンクルの南方に於て英軍はクールスレットの東方に向ひ更に進出を行ひ半哩の戰線に於て築壘せられたる一帶の敵塹壕を奪取し若干の捕虜を獲たりモーケット畑地の西方に於て敵は夜陰に乘じ猛烈なる逆襲を企てたれども我が砲火の爲め多大なる損害を被りて擊退せられたり（倫敦電報）

○ソンムの空中戰

巴里來電公報に曰くソンムの戰線に於ては二十二日五六回の空中戰行はれ敵の飛行機十臺は射落されたり（倫敦電報）

○獨飛行船の大襲擊

倫敦來電に曰く、二十三日來襲したる二隻の獨逸ツエッペリン飛行船は破壞せられ中一隻の乘員は全部即死し他の一隻の乘員二十二名は捕虜となれり同日來襲して投彈に參加したる敵のツエッペリン飛行船數は合計十四隻にして英國側の被害は即死二十八名負傷九十九名なり（紐育電報）

○香港の英國戰費募債

香港來電に曰く、英國殖民大臣ボナーロー氏は香港政廳に依りて引き受けらるべき地方債三百萬弗募債を認可したり右公債は政廳の選擇に依り五年乃至十二年間に返還せらるべく利率は年六分とし募債の金額は本國の戰費に寄附せらるべきものなり（桑港電報）

○潜航艇の建造

海軍省は此程大型潜航艇三隻建造命令を發せり（東京電報）

○同志會評議會

與黨三派合同に關し二十五日同志會評議會を開催せり（東京電報）

○大隈首相參內

大隈首相は廿五日午前十時宮中に參內し聖上陛下に拜謁仰せ付けられ重要政務に就き伏奏する所ありたり（東京電報）

○火藥規則改正

火藥類船舶輸送及び貯藏規則中改正の件は二十六日附府令を以て發布せられ十月一日より施行の筈なり

○徵收費用改正

地方費賦課金徵收に要する費用の件は二十六日の官報に依り府令を以て公布大正六年四月一日より施行の事となれり從來賦課金徵收に要する費用は徵收額の百分三五と規程されしが本令に於て之れを徵收費に對する實費の百分二五と改正さるゝことなれり

○稅關檢査官會議

稅關檢査官會議は二十五日午前九時より第一會議室に於て開會釜山、元山、鎭南浦、仁川各地の稅關檢査課長、京城南大門稅關出張所主任等出席し藤川度支部長官代理統裁の下に直ちに日程に入り午前は聽取事項午後は事務打合せありて午後三時散會したり二十六日以降の日程左の如し

二十六日 午前事務打合 午後同上
二十七日 同 同
二十八日 同 同
二十九日 同 同

海事關係法規の改正 伊藤海事課長談

總督府令を以て朝鮮船舶職員試驗規則改正及び朝鮮水先令施行規則中改正の件を二十五日發布されしが其の改正の要旨に付伊藤海事課長は曰く

▲船員試驗程度 從來の船舶職員試驗程度は今回の改正規則によりて著しく程度を高めたり乃ち日本の海運界が駸々として發展し優に世界的となりし爲め從つて乘組職員も相當の資格を要する事となれるなり今回改正の要旨は英國のエキストラマスターに準じたるものにして航海術、運用術其他諸法規の試驗科目を高等とし加ふるに甲種船長一等運轉手機關長一等機關士には新に高等の英語を課する事となれり

▲特種船員試驗 但し上述の如く各級船員の試驗程度を高めし結果從來五十噸以下の帆船にも乘り組める三等運轉士の資格も大に昂上し事實小帆船への乘組みは難事となりし爲め別に五十噸以下の帆船に限り効力を有する小形船內種運轉手試驗を特に執行すべく此分は筆記試驗を省き口述試驗のみ朝鮮にては本試驗應試者最も必要にて又多數なり次に發動汽船三等機關士試驗をも執行し普通の三等機關士より程度を低下する事となりたり

▲水先案內改正 水先施行規則の改正は同規則による水先料の最低標準を從來吃水十二呎とせしを十呎とし其の最低を增加する事一呎毎に並に噸數千噸を超過する事千噸毎に最低料金の百分の三を加ふる事となしたれど今後は百分の六と改め乃ち幾分料金を高めたり

○池田長官出張

遞信局長官池田十三郎氏は遞信事務視察の爲め二十三日山縣政務總監一行と金剛山より別れ江原並に咸南兩道管內に出張したり二十六日歸任の豫定なり

○忠北長官入京

忠清北道長官柳赫魯氏は事務打合せの爲め廿四日午後九時南大門驛著汽車にて入京廿五日總督府に山縣政務總監を訪ひ入京の挨拶を爲したる後關係各部局に就き打合せを爲せり

○釜山街鐵開業

釜山市街電車は曩に埋立地郵便局前より西部市街地富平町迄七十一鎖間延長工事中の處此程工事進捗廿二日より開始を爲せり

○四郡參事諮問會

京畿道にては二十五日午前十時より京城學校組合議場に於て高陽、始興、加平、廣州等の郡參事を召集し道長官第一部長等出席郡行政に關する諮問を行へり

○大味氏歡迎會

前沖繩縣知事大味久五郎氏は北京漢口等の視察を終へ歸國の途次二十四日夜入京し滯在中なるが二十五日は總督府、司法部、昌德宮等を訪問したる後同氏歡迎の爲め古海總長、宇佐美長官、林、井上、村田の各理事、後藤中野兩課長の諸氏主催となり午後六時より千代本にて歡迎會を開催すべしと

○京城府協議員會

京城府にては二十六日午前十時より府協議員會を開き屠場統一豫算更正府吏員規程町總代囑託等の諸件に就て諮問を爲す筈なり町總代の囑託は從來民團當時の町總代を其儘總代に囑托しありたるものなるも今回決定せば新に町總代規程を設け囑托することゝなるべしと

○虎疫豫防の諭告

京畿道長官は虎疫の益猖獗を極めんとするに鑑み二十五日を以て左の如き諭告を發したり

本年夏季以來內地に於て虎列拉病患者發生し逐次蔓延を極め今や朝鮮に於ても漸く各地に其の流行を見むとするに至り特に管內仁川及富平に於て最近多數の患者を發生せるは頗る遺憾とする所なり惟ふに該病は其の蔓延頗る猛にして慘害實に測る可からざるものあり明治四十二年一度該病の管內に於て發生するや忽ちにして仁川京城驪州開城楊州水原等の各地に浸延し其の患者千數百名の多きを見其の慘狀は既に各人の記憶に新なる所なりとす仍て局に衞生の任に在るものは夙夜之が豫防に從事すと雖も各人の衞生に俟つに非ざれば完全なる効果を奏するを得ざるべし管內一般の住民は能く此の趣旨を體し此の際各人相戒めて克く衞生を重んじ傳染病豫防消毒に關する法令及警察官憲の命令を遵守し以て其の災害を防止せむことを期すべし

○學校生徒豫防注射

京城府の各學校は虎疫の蔓延益猖獗を極め通學生徒の衞生上危險と認めたる場合は何時にても閉鎖を行ふことゝなり居れるも先づ夫れ迄の豫防行爲として各校一齊に豫防注射を行ふを最も安全なりとし京城府にては豫て府公醫をして目下其準備中なるが愈々注射に著手すれば官立學校側にも打合せたる上兩三日中に一日平均二千人の豫定を以て無料注射を行ふ由

會寧

▲會寧客月貿易 會寧客月貿易額は輸出一萬五千十二圓輸入一萬七千九百九十五圓合計三萬三千七圓にして之を前年に比すれば輸出に於て一千二百六十一圓輸入に於て二百二十六圓の增加にして其の原因は輸出に於ては主として間島地方住民が畜益を購入せると防穀令解除の結果穀物の輸入增加し從つて輸出貨物に好影響を與へたる輸入に於ては主として穀類の輸入增進して客麥物外には木材、支那燒酎等なりとす▲金融活潑 客月會寧金融は對間島貿易も近來順調に進展しつゝある一方地方特產品たる麻布の氣配强く貿易良好なるに連れ出廻り頗に旺盛を呈し且畜益を目前に控へし爲とて交換的に綿布類雜貨の荷動き活潑なると鐵道工事關係者に對する物資の需給も漸增の趨勢を呈する等一般市況活氣充實し景氣恢復の兆あり隨て資金の流轉頻繁に行はれ金融は全月を通じ多數種に越月せるが今後は貿易期に入るを以て一層資金の需要は增大せん▲現在戶口 八月末現在會寧在住戶口は一千六百八十三戶七千百六十九人にして中內地人は四百五十九戶一千八百十三人支那人二十四戶百二十八人外國人二戶七人の外は朝鮮人なり而して之を本年六月末に比すれば內地人六十四戶百六十八人を總計に於て三百五十八戶四百四人何れも增加せるが之れ淸會線工事の北進及び常設師團設置に原因す

淸津

▲畜牛品評會 咸北道にては本年度地方費を以て例年の如く畜產畜牛品評會を開催の筈なるが主催郡は鏡城、吉州、鏡城の四郡にて各其附近三郡を聯合區域とし開會期日は十一月三日より同廿六日迄各地開會期四日間なりと▲大典記念陳列館 咸北道廳にては御大典記念として物產陳列場を建設する事となり本春來建築工事に著手せるが既に外部家屋の建築を了り內部の造作裝飾亦た完成し物品陳列に取掛れるを以て近く開館の運びに至るべき豫定なるが同陳列場に陳列さるべきは農產、水產、工產、鑛產、蠶業、林產物等總て北道の產出品を網羅したるものにて他に參考品として各道より蒐集せる牛皮、煙草、織物等も陳列する豫定なりと▲咸北の需要牛 追々冬季に向ふに從つて夏季供給力旺盛なりし魚類も漸次缺乏を告ぐると共に獸肉の需要を逐ふて需要增加するの例なるが北鮮地方の如きも昨今牛肉の需要漸く增加し之を夏季に比するに倍額となれり而して現今の生牛取引價格は牡牛は六十貫見當のもの六十七圓より四十貫位のもの三十三圓にて牝牛は四十貫を最高とし三十六圓最低三十貫を二十七圓見當なりと▲近海鮮漁業 淸津近海の秋季鮮漁業は本月上旬より著手せられ昨今二十餘隻の出漁船あり相當の水揚高あるも未だ乾製の時期尙早なるを以て鮮魚の儘市場に出し或は鹽漬開鰐となしつゝあれども乾製過せんとする形勢にて何れも目下準備中にあるが殊に本期の同漁業界を殷盛ならしむるは開鰐製作者の增加にして從來の三四名の外に六名を加へて十名以上となり互に競爭的に出漁者に資金を提供して漁獲物の自由契約を急ぎ既に八分通りは取引契約を爲したる爲め十五日魚市場に於て執行せる競賣入札も甚だ振はず一尾三錢七厘に落札せる有樣なりと

咸興

▲大神宮工事 龍山に建設されたる咸興大神宮は基礎工事何等の故障もなく目下其の基礎工事進捗中なるが右工事は本年內に於て全部竣成の筈なり▲咸興の植樹 咸興市街の背後なる盤龍山には本年春ニセアカシヤ、クヌギ、栗、赤松等三十萬本の植樹をなしたるが右に就き道廳は二十一日より向ふ一週間に亙り吉岡技術員を派し其の後著生育狀況の視察をなさしむべしと而して同地には明年度に於て更に三十萬本の植樹を行ふ筈なり▲監獄署工事 三年繼續事業とし咸興軍營地に並べる東門外の高地を選び目下工事中なる咸興監獄署は既に大體の工事を終へ且つ必要なる家屋一棟も出來上り順次進捗中なれば全部の竣工も遠きにあらざるべし

元山

▲市街地新計畫 曾て元山府に於て計畫中なりし元山本町四丁目の裏手即ち城洞新市街地域に就き此の程に至り其の豫定全く成りたるを以て二十六日午前九時より附近關係地所有者を府廳に招集し之れが說明をなすべし▲元山會議所 過般府廳を經由し却下されたる歲入出豫算及び賦課徵收方法に就き元山商業會議所は二十日の役員會に於て大部分其筋の指示に基き訂正の上申請する事に決したるが右につき更に近々評議員會開催協議の筈なり

平壤

▲大橋會頭披露宴 平壤商業會議所會頭大橋恒藏氏は二十二日會頭就任披露の爲花柳の紳士有志新聞記者等七十名を大同館に招待し盛宴を張り大橋會頭の挨拶工藤長官の謝辭ありたる後模擬店を開き主客歡を盡し十一時頃散會せり▲宇都宮視察團 宇都宮視察團一行は二十二日午後三時十分著列車にて來壤直に鎭南浦に赴き視察を遂げて二十三日午後三時十二分著列車に再び來壤市內及牡丹臺の戰跡を視察し同夜平壤に一泊

仁川

▲視察團來仁せず 兵庫縣主催鮮滿視察團は二十日仁川視察の豫定なりしも虎疫流行の折柄なるを以て遂に來仁せざりき▲新收容所開始 新花水里隔離病舍は二十四日迄に竣成の豫定なりしも降雨の爲め意外の故障起り二十五日午前中に完成し同日午後より收容を開始したり▲救護班增加 仁川府廳にては四班の貧民救助班を組織し活動し居たるも救助人員激增の結果二十四日更らに一班を增加したり▲調理研究會例會 仁川調理研究會にては二十五日午後一時より第五回月例研究會を仁川ホテルに開催したり因に課題は玉子、牛蒡等也

人事いろいろ

▲鈴木隆氏（慶北道長官） 二十五日午後入京巴城館へ
▲柳赫魯氏（忠北道長官） 廿四日入京
▲田中玄黃氏（平壤高等普通學校長） 二十四日夜入京南山へ
▲奥田理一氏（織物商） 入京中の處二十五日朝退京
▲松元千代助氏（難波銀行大阪支店長） 同上
▲寺村民藏氏（貿易商） 同上
▲谷口與四郎氏（鐵業家） 同上
▲芳賀榮次郎氏（總督府醫院長） 二十四日夜仁川より歸任
▲李容植子▲閔泳徽子 廿四日夜元山より歸京
▲齋藤音作氏（營林廠長） 二十四日夜入京渡邊高等法院長官舍へ
▲深澤一郎氏（監獄課長） 二十七日より咸鏡南北道管內に出張
▲朝倉滿鐵販賣部長 廿四日朝通過東上
▲大竹法學博士 廿四日朝水原へ
▲宮入醫學博士 廿五日釜山へ
▲福岡農學校生徒（六十五名） 二十五日夜九時急行列車にて退京

□柿の句 烏堂

昨夜虎耳を防ふ在らず海龍から子規忌の柿の句を案じつゝ步行く（廿三日）

柿の井埋まりつゝ年ありぬ
輕き憂の柿剝く
柿赤う芝居の夜に寄るゝ
犬コロに柿の皮むき垂るゝ
朝から樹の柿に立つ休日

回海州より 靜軒

鏡城の秋を捨て廿一日當地に參り候

雨を衝いて海州に入る

自動車の秋雨衝きて一語なし
ひたぬれて著く街寂し秋の雨
勸農の事日も足らず秋晴るゝ

惡疫の豫防に必ず二三粒!!

カオール

衞生口中錠

自他衞生上一番安全である

●病氣見舞の時、酒宴飲食の前后
●人込群集旅行、等最も必要である

オリヂナル本舖 東京 安藤井筒堂
關西總代理店 大阪 藤森源之助

仙臺平
セル袴地
羽二重 斜子 御紋附地
見本進呈
仙臺大町 藤崎吳服店
振替口座東京一七九〇番

長春原頭の觀兵式

盛なる駐滿師團秋季機動演習

駐滿第十七師團の本年度秋季機動演習は來る十月九日より開始し特に川村長谷川兩元帥觀戰す可く旅團演習を終りて師團演習に移る順序にて同十七日を以て結了する筈なるが其臨閲は長春公主嶺間にて南北兩軍の接戰地は長春を南に距る七千米突の十里堡附近にて對抗雌雄を決する筈にて翌十八日長春附屬地間屋敷北方廣場に於て觀兵式を擧行し官民合同宴會場は長春驛構内と決定せり右に就き過日上田參謀長は同地附近の地形及び宿營地の模樣を調査計畫したるが尚ほ山内領事、橋本警務署長等とも打合せをなし宿舍は新市街全部を使用するも不足のため或一部隊は城内支那家屋に宿營するやも知れずと(長春)

鎌田工學士監禁さる

二十五日朝安洋丸にて香港より門司へ歸來せる某有力者の談に曰く一時行衛不明となりし三菱廣東出張所員工學士鎌田六三郎氏の同行者森某は去る十日廣東に歸り來れるが其の談に依れば鎌田氏は目下某所に監禁され解放の代償として一萬圓の提出を要求され居れるが生命には別條なしとのことにて廣東撫軍副長岑春煊氏は安心して三菱と岑氏とにて其償金半額宛を出金せんと目下交涉中なりと云ふ(門司特電)

七十餘名の乘組員生死不明

方魚津沖で漁船十八隻の遭難 信號で新羅丸に捜索を依頼す

二十三日來關釜間の風浪烈しきため連絡船も缺航せし事は既報の通りなるが廿一日下の關を發したる播州赤穗の出漁團三十一隻漁夫二百餘名は母船林兼組第二西海丸に曳れ慶南方魚津に向ふ途中二十三日夜半對馬を隔る

▲北方二十八海里の洋上に於て母船は汽鑵に故障を生じ他の漁船は各自に帆を巻き自由行動を執りたるも風浪益々凄じきより母船の修理完成するを待つて再び西海丸に曳かれ航行中二十三日午前四時頃方魚津の西南二哩半許りの處に於て曳綱切斷し三十一隻中の十六隻は行衛不明となりたれば西海丸は殘る十五隻を曳きて進行中其の二隻は巨浪を浴びて轉覆せり斯くて五六島附近に來りし頃折柄釜山出港の新羅丸の航進し來るを見て兎に角同船に向ひ信號を以て

▲難波船の救助方を依頼し漸く西海丸は殘十隻を左水營灣内に引込みて自由に行動を取らしめ再び洋上に出で行衛不明の十六隻と二隻を捜索せんものと進みしも遂に何等得る處なく引き返し釜山港に入港すると共に其旨釜山署に屆出でたれば警察署よりは直に鰊丸を巨濟島附近沿岸に出動捜索せしめたれ共手掛なし其後廿四日午後九時迄に捜索の結果牧之島南岸に、二隻十一名ミミ下端に四隻廿名、避難し居る事判明したれば目下捜索續行中なり尚行衛不明の漁夫は七十餘名なりと(釜山特電)

誰でも檢鏡を乞ふ事が出來る

警務總監部衞生課附設の細菌檢査室は從來三清洞三角山下に設置しあるも頃日の虎疫蔓延に際し甚しく不便なるを以て二十七日より警務總監部構内に移轉することゝなれり依つて今後市中に於て萬一怪しき患者發生したる際は主治醫は勿論一般患家にても自分に採便して檢査室に持參すれば即時虎菌の有無を檢しやるべしと尚ほ一般採便に就ては極少量を硝子の小瓶に詰めたる上堅く栓を施し容器の外部其他身邊に附著せざる樣注意の上持參すべしと

暴風と連絡船

棧橋に繋留し荷客を搭載し出帆せるも風浪の爲め又も引返し港内に碇泊……缺航を缺きたり廿五日午前定時出帆……に收容せり(釜山)

巨虎を斃す

咸北道奧地方は例年秋季に至れば熊猪等の野獸出沒して野作物を喰ひ荒らし被害甚しきより農民は其筋の許可を得て發砲驅除に努め居れるが清會沿線茂山嶺北なる全距離洞の一農夫は去る十四日野獸驅除を爲しつゝある際突然一頭の大虎現はれたれば大に驚き逃げ出さんとせしも最早間近く近づきたれば詮方なく銃を執り覘を定めて發射せしに彈丸急所に命中せしものゝ如く虎は物凄き吼聲を發して打倒れたれば近き見るに重量六七十貫もあるべき牛の如き巨虎なるより部落に歸り人を呼び來り數人にて古豐山に搬出せるが皮は六十一圓に肉骨は十二圓にて何れも内地人が買取りたるが皮の大さ三疊敷にも及ぶ稀有の大虎なりしと

又も五十九名吹き流さる

全南巨文島近海にて二十三日夜出漁中なる鰯船四隻暴風の爲め吹き流され乘組員五十九名行衛不明となりたりとの急報に接し木浦警察署にては警備船扇海丸を現場に派遣したり(木浦特電)

□防疫巡回講演醫師 向つて右より島崎病院長、池上醫院長、朴弘仁堂醫院長、元德濟病院長

(京)婦人、子供にも克く判るやうに說明します

皆さん明日の講演の爲めに 僅か卅分の時間をお使ひ下さい

京城龍山市中巡回防疫講演會は二十五日夕刊所報の如く自動車四臺を二班に分け二十六日午前九時本社出發一は本町署管内より龍山憲兵分隊管内に向ひ一は鍾路署管内に向ひ午後五時まで市中

五十餘箇所にて

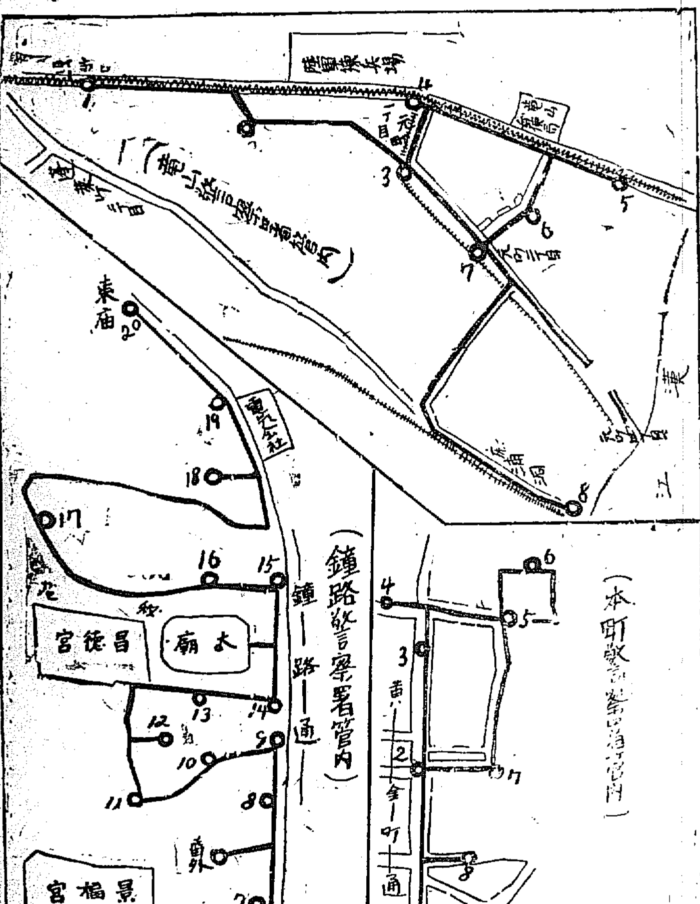
開催する事となつた、講演者は本社の委囑を快諾されたのみならず、惡疫防遏のために自ら進んでその任に當らるゝ櫻井町池上醫院長池上要吉、旭町一丁目、島崎病院長島崎龍一、弘仁堂醫院長朴宗桓、德濟病院長元惠常の四氏にして孰れも斯病の診療に當りて充分の經驗と識見を有する良國手で今回の講演者としては最もその人を得たものである講演自動車隊は各樂隊を乘せた一臺の自動車を先頭に講演を爲しつゝ印刷物を配付する一方人車隊を編成して自動車隊の往き得ない箇所を縱橫に縫つて行く筈であつたが都合で徒歩團を四組に別けて出す事にした、紙旗に『虎疫豫防心得書配付』なる旗を立て、印刷物を通る一隊があつたらどし／＼印刷物を請求して戴きたい、そこで惡疫流行の際

衞生を守らねば

ならぬ事は誰しも心得てゐる筈であるが、さて如何なる點を注意し何の程度まで之れを守らねばならぬかに就いて一般に知つてる人は少ない、新聞雜誌でも頻りにその注意を促がしてゐるけれども日常生活の事に疎い人などには徹底せぬ憾みがあるやうになつて來ると眼よりは耳の方が早い如何に忙しい人でも二三十分の講演を聞けぬ暇がない女子供でも容易に聞く事が出來て然かも十分にその意味が徹底する、然して講演自動車は市中の樞要な所は殆んど洩なく巡回するので態々遠く出掛けて聽きに行く必要は無い、自分の住む所の近くへ來た時軒先に出るなり

二三丁の所へ足

を運んでゆくなりして聽けば好いその講演も要領を簡明に摘んで話されるのだが先づ、二三十分の間には豫防心得一通りはよく解るだらうと思ふ、講演自動車が講演を開始する前に必らず防疫隊防遏上講演會と記した旗を立てた先觸れ樂隊自動車が著いて樂隊を奏する、講演隊が到著するのはそれから十五分乃至三十分過ぎてであるからその積りで行けば好い講演會開催當日講演を始めた場合には是非とも僅少の時間を割いて指定した一定の場所に集まつて戴きたい然して虎列拉の用心して衞生の心得さへ守れば決して怖るべからざるものなる事を知つて戴きたい



明日は晴れる

二十五日仁川觀測所員談 琉球方面に現はれたる颱風は支那東海北部を經て二十五日朝木浦釜山の間に來り更らに非常の速度にて朝鮮北東に進行しつゝ有り、然して數日來寒涼なるは右滿洲方面に高氣壓出現し北東風強き結果にて天候恢復は今明日中ならんと

檢疫を受けずに乘車す

京城旭町三丁目居住香川縣人矢川基信(五〇)は虎疫流行地備後尾の道市を經て高麗丸より二十四日午前釜山に上陸したる際停留檢疫を免れて北行列車にて歸京の途に就きたること發覺し釜山署より其旨本町署に打電ありたり

天狗倶樂部入京

二十五日午前八時著列車にて天狗倶樂部一行の新聞記者十三名入京し二十五日は市内各所を視察の上一泊し二十六日朝出發歸東すべしと

二百餘圓拐帶

長野縣小諸郡▲尾村生れの春原袈裟吉(三六)は全南光州光山町帝國公債信託株式會社支店相馬與作方に雇はれ中其集金事務に從業し三月以降に同地濱本某外四十餘名より取立てたる金員二百餘圓を拐帶し八月中行衛不明となりたるより光州警察署にては豫て同人の捜索手配中の所此程郷里地方にて捕はれ押送し來れり

コレラ彙報

▲仁川二百六名

仁川警察署管内其後の發病者左の如し 仁川府内 中角里七、花平里二、龍里一、龍岡町四、外里一、新花水里一、寺町二、松峴里四、花房町一、富川郡 內面富平里八、浦里一、下里一、同郡內面住院里一にして二十三日には三十四名、二十四日は三十七名を發生したる次第なりと而して二十二日午後十時迄には百五十七名の患者中九十三名の死亡ありしが其後日日に發病者激增したる爲め二十四日午後七時迄に二百六名に達せり

▲英國人の發病

江華邑在住宣教師英國人スミス(三十三)氏は二十二日發病檢診の結果二十四日眞正虎列拉と決定し同日仁川避病院に收容したり

▲鎭南浦に發生

廿四日鎭南浦入港中の潮州丸乘込員水夫コレラ類似症者あるを發見し檢疫所に收容し同船乘組員船士一名も檢便の結果保菌者と決定し取敢へず相當處置をなせり(平壤)

▲患者附近隔離

二十四日京城に疑似患者發生したることは既報の通りなるが外町四丁目は患者の住家地に附近二十三戸六十五人を隔離し黃金町三丁目は十月四十二名を隔離し嚴重なる健康診斷を施したるが何れも異狀なかりしと尚セブランス病院入院中の患者は二十四日夜眞症と決定し同愛病院に收容せり

▲群山興行禁止

過般來群山港に於ては虎疫流行各地を發し居るは通過せる船舶荷客に對しては消毒隔離を行ひ其他府内の飮食店果物店の取締を嚴にし防疫上細心の注意を拂ひつゝありしに拘らず既報の如く港内に數名の虎疫患者を出したるに依り嚴重な一層嚴にし興行物の如きも當分禁止し各飮食店に對しては刺身の如き料理に生物の使用を一切禁じたり(群山)

▲警察官の活動振

京城に虎列拉が出たので實際首府たる大都市だから萬一蔓延するやうな事があつては一大事とあつて各警察署では消毒から防疫など嚴重に勵行して居る本町警察署では國分署長、佐藤警部以下日曜祭日などの區別なく當非番巡査總出で目の廻るほど忙しい或る員の如きは最う三日計り碌に飯と眠りとにありつけないといふ活動振りである

講演自動車巡路說明

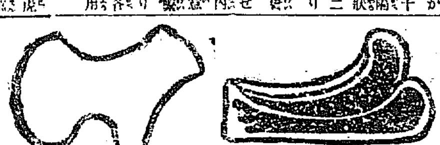
△本町署管内 一、永樂町黃金町四ツ角二、黃金遊廓前三、旭橋前角四、新町五、本町電車終點六、本町三丁目永樂町角七、明治町四ツ角(以上午前)八、朝鮮銀行前九、南大門十、義州通鐵道踏切十一、西四辻十二、蓬萊町派出所前十三、南大門驛前(以上午後)

△龍山分隊管内 一、古市町二、吉築町二丁目角三、元町一丁目角四、三角道路前五、鐵道官舍前六、榮町角七、本願寺下八、龍山市場(以上午後)

△鍾路署管内 一、橋南洞、石橋派出所前廣場二、竹添町二丁目派出所前四ツ角三、西大門內興化門前(中央病院表門前)四、唐珠洞通中間夜珠峴より東に入る五、宗橋派出所北手(光化門通中間)六、樂園洞中間七、明月館前八、半…九、鍾路四ツ角十、パゴダ公園十一、安國洞十二、昌德宮前十三、敦化門通中間十四、苑南洞通中間十五、鍾路三丁目十六、苑南洞通中間十七、觀旗橋四ツ角十八、孝悌洞十九、東大門廿、東廟(以上午後)

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

△箝め繪



上圖の通り

○朝鮮靴(一等) 仁川 扭峴 藤井生

▲佳作 釜山小野、京城高橋生、同西村孤村、同北村才記、同堀田源八、元山浪花生、京城田村源路

■募集規程 ▲用紙端書又は同型の往復一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事

▲課題(募集規程)

▲行方向北東▲記事降雨あるべし▲警戒區域全羅南北道、江原道、慶尚南道

天氣 曇り一時晴れ ▲九月廿六日

▲地方出張所長及有給外務員招聘候に付御希望の方は至急御申込あれ
京城鍾路通一丁目二十二番地
日本國債債券株式會社朝鮮總支部
電話一七三七番

醫化學器械
藥種賣藥卸商
(K) 仁川本町 北島藥店
京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店
電話三三四・振替京城六七番 電話七六一番

內科 小兒科
芙蓉醫院
醫學士 森定吉
京城本町二丁目(瓦斯會社向側) 電話二六三三番

葡萄酒と云へば何人も直ちに
蜂印香竄葡萄酒を
想起するは何故ぞや?
蜂印香竄葡萄酒には萬人の腦裏に徹底せる強大の特色あればなり
曰く品質精良!! 美味滋養!!
優良生葡萄酒を素とし補血強壯料を主成分として精製せる本酒は
只朝夕一杯づゝにして
血を增し肉を肥やし
力となる!!
發賣元 東京本町 近藤利兵衞

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹸部 化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外新設町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹸製造所 電話二五六・電話九七三四番 振替口座京城四〇〇番

价川輕便鐵道 列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	十一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	後二、四五	五、三〇
价川著	前十一、〇三	後二、三二	四、三七	七、二八

…下の關に引返し又同夜[illegible]は下の關…
…のさくら丸は同じく風浪の爲め途中より引返したれば該航…しき爲め途中より引返したれば該航…
…引返したるが廿四日午前再び…となり關釜連絡は廿五日夜來荷客の收容する能を得ず藏前町の假停留所…

◎日本基督教會と廟洞教會

△近く合併する筈

◇府内廟洞の朝鮮長老教會は這回長谷川町の日本基督教會と合併することに致したいと同會の經營者李源兢氏から申込みがあつた。

◇此の李源兢氏は以前韓國政府時代に法部協辦を勤めた人で且つ熱心な基督教徒であるが這回教會と鮮人の信徒全部を擧げて日本基督教會に加入したいとの希望である

◇斯ることは實に朝鮮に於て初めてのことで從來は鮮人個人としては加入することがあつても教會全部が内地人と共に働らくといふことは曾て無かつたことである

◇されば日本基督教會に於ても近く臨時中會を開いて協議する筈であるが從來殆んど外人ばかりの經營になつた鮮人側基督教の教會が内地人の教會に加盟するを欣悦むで歡迎する筈である

◇近來はまた日本内地で教育された鮮人牧師も二三人あつて半島の基督教はこれから内地人牧師の手に開拓されるとが益々多くなるであらう

◇且つまた外人宣教師側にも東大門のゲール氏の如きハリス博士の如き極力内地人側に同情斡旋する人もありまた平壤の外人宣教師團隊の如きは這回日本基督教會の新築敷地として三百餘坪の土地を寄贈した程でこれから朝鮮の基督教は内鮮人教會外人教會と相俟つて益々發展する事であらう

◉防疫の説教

△各宗寺院にて

恐るべきコレラが來ましたので此の際各人が衛生に注意しなければならぬのは勿論でありますが府内各宗の寺院にては一般信徒の人々にも注意せしむる爲め二十五日午前中若草町の曹洞宗別院に集合の上宮舘本町署長も列席協議に與かり一般に衛生の說教をすることになりました

あちらこちらとどこ (六) 阪出技師の洋行土産談

◇往來の紙屑籠 私が感心したところはロンドンの街の綺麗なところを歩いて居つた時のことでございます◇私は可愛らしい七ツ八ツ位ゐの男の子が、小さい妹と共に街を歩いて居るのを見ました◇しかし、其の子は、ポケットから紙をとり出して、自分の口のまはりを拭きましたが、紙はそのまゝ丸くして手に持つて行きます◇私はその小供が紙を何うするかと思つて、二町ばかり一緒に歩きましたが、なかなか紙を捨てませぬ◇其のうち、とある路傍の街路樹の根元に來ますと、小供は作の紙を小さく細かにの屑籠に捨てました◇中を見ますと、林檎の皮とか電車の切符屑など、いろいろな紙屑が入れてありました◇私は小さい少年までも綺麗によく訓練されたものだと、甚く感心したことでございます◇それからロンドンの河畔ではよく愉快さうにボートを漕ぎ廻る少年や、泳ぎに水泳を試みる子供達を見ます◇然るにそんな場所には必ず、河岸の適當な所に一つの浮袋と麻繩が用意されてあります◇これは若し子供達に間違ひが出來た場合、早速通行の人が浮袋または麻繩を投げて、救助する爲めの用意であつて、以れも往來の手の届くところに置かれてありますが、誰れも盜み去るやうな人はありません◇次にまたあちらの公園では少さい可愛らしいベンチが置かれ、また博物館には極く低い所に、少年向きの油繪などが、懸かつて居ります◇これ等は何れも少さい子供の爲めに備へられたもので、あちらの人の子供に對するやさしい考へを、面白いと感じ入りました(女子高等普通學校にて)

婦人界消息

▲鈴木すゞ子(土地調査局長夫人) 先般來内地歸省中のところ不日來京の筈

▲神野のぶ子(總督府司法部事務官令嬢) 福岡九州三池炭坑技師山川工學士と結婚の上二十四日南大門發内地へ向はれました

◎境[illegible](宗務課長) [illegible]竹添町二丁目十六番地の一號に轉宅せり

◎井口牧師旅行 長谷川町日本基督教會井口牧師は神戸及び大阪に於ける全國日本基督教會總會列席の爲め來る十月二日(月曜日)南大門出發の豫定

神社とお寺と教會

○千代寺(南山町) 廿五日午後七時より目下入京中の久保僧正の說教あり同僧正は廿六日朝元山へ向け出發の筈

○西本願寺(若草町) 廿五日午後八時より後藤會法要梅原總長、木村開教師の說教あり

○東本願寺(南山町) 二十六日午後七時より衛生講話あり

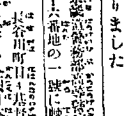
○高野山(西四軒町) 二十六日午後二時、同八時より彼岸の供養法會あり

○天理教(壽町) 二十五日午後八時より青年會開催

○曹洞宗別院(若草町) 二十六日午後二時同七時半より彼岸大施餓鬼に衛生講話あり

○龍山西本願寺(元町二) 二十五日午後二時より松原氏の衛生講話あり

○京城神社(南山) 這回境内に天滿宮新築につき二十五日午前十時新式を執行せり



一里芋うまに 鳥そぼろ 醬油なさしあじをつけて水どきのくずを少し加へて一寸火を通し能く鳥を細かにたゝきみりん醬油にてパラパラに煎りつけ丼に里芋を盛り鳥を上よりふりかけ

一卸し柚子 甲羅の皮をむき生醬油にしてよくぬめりを洗ひただし砂糖を加へ(やわらかに) 當柚子を卸し金にて卸して鳥の上よりふりかけて進める(青木はつ子)

番茶のあと

開城名物の白菜は毎年秋のお漬物用として朝鮮は勿論内地邊までも送られてあるが△今年は天候の惡かつたのとおまけに油虫までついたので品拂底にならねばよいがと心配されてある△相場は昨今本場許りで一株二錢五厘乃至三錢位ゐ△採取期までには多分五錢位ゐに騰るならんと△猶ほ名物の葡萄も頃日が出盛りでマスカット一貫一圓五十錢ブラックハンブルグ一圓二十錢位ゐを上下して居る

お休日記

△明治天皇祭 龍山元町小學校高二 志田千代子

○七月三十日(日)晴、午前八時に家を出て學校に行く、校長先生の講話あり『明治天皇の御聖德』感涙に咽ぶ。[illegible]唱歌の[illegible]を取る。午後母の許を得て内田様と妹と共に浦田様を訪問す、逍遙し浦田様の通學の話を察す。山に登りて四方を眺めば前に龍山元町を一目に眺め、後にわれ等の學林あるハンガンあり遊暮家に歸る。

△草の上のとんぼ 龍山元町小學校尋三 北井長

○八月十日 僕は川にとんぼをとりに行きました。とんぼはがけへとまつたり、すなの上へとまつたりしてなります。僕がとらうとしたらみな一ごに、にげて行きました。僕はいつしようけんめいになつて、おつかけて行くと、枯れた枝にとまりました。しづかに行つてつかまうとしたら又がけへとんで行きました。こんどは、どうしても手がとゞきませんから、すなをなげかけましたら水の上へおちました。そのおちたのをひらうとしても水の流れが早いのでどうすることもできませんでした。さうするうちに弟といつしよに僕を見て笑ひながら見えなくなつてしまいました。

△漢江の煙火 龍山元町小學校尋六 光田博子

○八月十九日(晴) 日が暮れかゝると河開きのばんとなる。いそいそと支度をすまし、御友達をさそうて家中の人と一緒に漢江の砂原に行つた。對岸には、はやたくさんの提灯がともつて、大ぜいの人聲がかすかにきこえる。上流の方から提灯をともした小舟が二三ぞうこいで來た。やがて種々の美しい煙火が上り始めたので、私共はみんな大聲をあげてよろこんだ。煙火がやんでゐる間は私共も大人も一しよに唱歌を歌つたり、めいめいお話をしながらまつて居た。その内に用意のおべんとうが届いたので煙火を見ながらおいしくいたゞいた。

△美しい提灯の灯影 龍山元町小學校高二 横枕つた子

○八月十九日(土)晴 待ちに待つた河開は今日となつた。夕方早くから御風呂に入り、よそのお姉さんと一緒に六時の汽車で龍山に行つた。漢江に行く電車通りには、人が大勢通つてゐた。花火の音がドーンとこゝると、人々はそれ上つたと上を仰ぐ。漢江の河畔に來た時には、もう大勢の人が來てゐた。向ふを見渡せば、對岸の人家の提灯の灯影が水の面にうつり、まことに美しかつた。それから間斷なく種々の美しい煙花が空中に上がつた。サーチライトのやうなのが水の面をてらした時にはそれが小波にうつり、まことに美しかつた。

△南山で昆虫採集 龍山元町小學校高一 蒔田信夫

○七月二十二日(晴) 先生と南山に動植物の採集に行くことになつて居るので、何時もより早く起きた。學校に行くともう八九人來て居た。南山に着いたのは九時頃であつた。京城神社に參拜の後、裏手にある瀧の處に行つてざりがにを取つた。それから其の上の谷あひから段々登つて頂上に登りついたのは十一時頃であつた。頂上の寺の處で辨飯を食べた時のうまさは格別であつた。其處でしばらく昆蟲を採つて遊び[illegible]に歸つたのは二時頃であつた。

商況

東京株式特電

	十九日前場寄付	大引
日本郵船	—	—
京城電氣	—	—
同新	—	—
鐘淵紡	—	—
日本麥酒	—	—
東株第一	—	—
東株新第二	—	—
東新第一	—	—
東新第二	—	—
諸株大略		

東京公債直取引 特電

二十五日用値段(前日との比較)

五分特別	七二、九〇〇	九八、一〇
五分利	七一、九〇〇	
一回四分	七七、九〇〇	
二回四分	九九、九〇〇	
甲五分		

深川在米特電

二十五日現在高

朝鮮米	二五、五二六
臺灣米	八八、六四〇
内地米	一、五〇一、四六〇

東京期米特電

二十五日前場十一月限 後場

寄付	三三、六七	—
高値	三三、六八	—
安値	三三、五二	—
止め	三三、五六	—

大阪株式特電

	二十日前場	二十五日前場
大阪株式	—	—
東京新株	—	—
大阪新株	—	—
日本郵船	—	—
大阪商船	—	—
東洋汽船	—	—
大阪電燈	—	—
同上新株	—	—
鐘紡	—	—
合同紡	—	—
和歌山紡	—	—
京阪電鐵	—	—
阪神電鐵	—	—
宇治川水電	—	—

大阪三品特電

二十五日前場

八月限	五三、二〇	五三、二〇
九月限	五五、六〇	五五、六〇
十月限	五五、八〇	五五、八〇
十一月限	五五、〇〇	五五、〇〇
十二月限	五五、〇〇	五五、〇〇
一月限	五五、〇〇	五五、〇〇

大阪期米特電

二十五日前場

當限寄付	三三、五四
中限寄付	三三、七四
先限寄付	三三、九〇七
	め止

下關期米特電

二十五日前場 當限 中限 先限

寄付	—
高値	—
安値	—
止め	—

雜報

◉株式は小康

前週末に於ける株界波紋の餘影は二日拔きの休日明けに於て更に狂瀾怒濤を捲起すかと思はれしに大阪の今日市場は案外平凡なる成行きにて報ぜり二十二日の後場引と比較する時は宇治川同東京電燈會同五十錢方高となり東新一圓高鐘紡一圓安東株一圓六十錢高郵船四十錢安大阪株一圓四十錢安東新三圓三十錢安と甚だ不揃の氣配也

◉昆布類の近況

昆布大阪市場に於ける昆布類は其後產地出廻り案外少く且初め豫想し生產額收が平常に比し出廻り遲々たりし結果は漸く一割方を減じたるに至り三場所產及び奥地物に至る迄相場はメキメキと高騰し之れ何時迄也たりしに結果は漸く安値を示し…價値を再現するに至りしたる結果反動として頗る堅調なりしが近時の狀況は依然として變動なく且つ產地に於ても手取りの爲め尙ほ勿論の事市場に於ても如何程の見込あるや强ち無く斯る形勢にて今後も更に高騰を見るべき筈なりと云ふ驚き値段の見込みなり三場所產光石は一千六百五十圓位又今回は一十二圓位の取引ありたるも…毎に不透明のため相場成立…

南大門の廻穀

二十三日到着

鐵原白米	二七八叺
金泉玄米	三〇叺
烏致院胡麻	四五叺
倭館玄米	三三〇叺
金泉白米	三〇叺
水原玄米	一九五叺
仁川玄米	一七〇叺
金泉大豆	三五叺
烏山白米	一五〇叺
仁川玄米	一〇〇叺
仁川玄米	一一〇叺
平澤玄米	二七〇叺
天安粟	四〇叺
金泉玄米	三〇叺
天安小麥	一〇〇叺
烏山白米	一一六叺
定州玄米	一二八叺
平澤粟	二〇〇叺
沙里院粟	二五〇叺
黑橋粟	二五〇叺

二十五日到着

仁川玄米	一八九叺
水原玄米	一二八叺
烏致院玄米	二五〇叺

京城正米

大體に實物多からざる折柄此間三日來天候の不良に因り數減したる模様なるも地方の氣配は何れも一二十錢高の傳へ加ふるに地場筋に好賣行きに商内を見越して居る…常時三十錢高の見當な氣配なれば本日の總相場は約三十錢高の見當を呼び居れり精米筋も警戒の外なしとて僅に除いては此際見盗ろの外なしとて強いて賣入りしたる所あり買入も遂に不安氣配となり何れも三十錢高の十二圓八十錢處なり

下關相場

▲朝鮮白米は不拂 其後引續き產地との比較上割合に高く、急ぎ物あらずと雖も何分内地正米安に連れ益々割高なるより一層買人の手控へ居る爲め依然不拂の關係なり

▲大豆は拜ばず 本品は大體の人氣先安見越しの折柄とて只管買人の高値は見送りの體なり[illegible]…

▲小豆は依然不引立 前報後僅も中すが何分米價が高く他品の不妙なる折柄とて自然商況の沈滯を免れざる爲め小豆は相變らずの品少く持ちあるも…

◉生果の其後

全然不振 仲の上物は帰々取引あり見當相場は頓七八十錢林檎六七十錢なり本日の入荷は百個足らずにて餘程廻著を減じたるが天候不良にもあり勞年前中に賣買の行はれたるは約半數に過ぎず

◉椎茸は鈍狀

椎茸は前週來當市場小口の買氣は充分ならず當用小口の買物なれば一般に供給多にして本品市況は其後矢張沈靜の儘に推移し内地向在荷潤澤なる爲め相場も物持物共鈍狀にして高値に揚げするの見込なきもの…の如し

十二圓四十五錢

十二圓四十錢處

◉砂糖は不味

昨今大阪及び横濱の競爭販賣可成り烈しく先般來斯糖は品質の改良特約店の活動により近來減切需要を增加し漸次大日糖の地盤を動かし來れるに對し大日糖も大々策を講じて之に當り居れるが兎角會社の特約店以外の當業者も値段と品物次第にて何れにても漬屋は値段の割安なるを以て對抗するの振自然値段の割安なれば會社側にも競爭上合ひあり且つ市場の賣行も頗る鈍狀なり居れる折柄にもあり氣配は軟弱なり目下の小口卸値としてはセーテー十二圓四十五錢イーー十二圓四十錢處なり明治製糖月輔工場よりの試賣品も入込ありとの事なれば今後の本品市況は隨分興味深かるべし

き品は殆ど無く停滯品は更に無しふるに產地高の結果荷動更に買氣付き當に入荷行の有樣にて仲々好況なり▲背板昆布一時原料長切昆布の漸落に從ひ稍利口に出來得る見込なりしも今回の長切漆臨に從ひ又形勢一變し極上等品は最初の高値以上なり最近成行き五圓以下にて實際上等品は出來居る筈なきも一方賣場の都合値頃物として長切以外の安物を配合するを以て比較的割安品を擇選すれども是れ等は日持の無價値なるのみならず味惡しく且丈通らざる次品なり折昆布類は新物入荷未だ潤澤ならず地ッ少數の入荷あり移入商側にありては昨年の高價なる古品を多數抱へ居るを以て新物入荷するも元高の古品の捌を望み新物の安賣を好まず形勢持合なり▲出昆布出し物としての利尻錢文品は其後追々入荷潤相場も順調に下押にて目先大なる下げ値はなきも未着荷と迄荷多少の餘裕あり

仁川現物市場

△投入指なし

△正米入指なし 氣配は別段變る模樣なし京城方面の高氣配を受けたるも保合を唱へ居るが天候不良にて商談捗る數からず

△小麥入指なし

釜山市場 廿四日

▲正米(十錢高) 昨日來の暴風雨にて天候險惡同者米減切り減少賣り物なく米主側は眼先き出廻り薄を見越して容易に手放し兼たる商狀へ人の附値に應ぜず高唱への傾きさればまりたる模樣にて正米の原料の必要に應ずる商狀なれば相場は十錢高となれり

▲大豆 同者品少なく別段買ひ進むと云ふにあらざれども手堅き商狀を示し環保合なり

玄米	一千六百四十六個
中白	一千二百八十一個
新小麥	六十個
胡麻	八十個
新大豆	二百廿二個
合計	一千六百四十六個

仁川期米

▲二十五日前場 大阪天候曇 前寄十三圓九十七錢 大前寄十三圓九十錢と前日止より一錢高の入電二節同事の移

…けに當地當中限は先十二圓十八錢と四錢高に寄付たるも買物あり忽ち一錢と押し上げたるが押目に返したる折柄大阪三節八十一錢と安移りに出來物あり押したるが大體に於て保合と手仕舞賣物多く四十四錢と跳ね返して動かす前限の押に保合結局四十三錢と不前保合に當限は米不申

▲二十五日前場 ▲中限出來不申 ▲先限⊖十二圓四十八錢五厘 四十錢二錢三錢四錢四十三錢三錢…

仁川米豆取引所

廿五日の十一月限

前場	
寄付	十二圓四十八錢
止め	十二圓四十三錢
高値	十二圓四十八錢
安値	十二圓三十九錢
出來高	五百五十石

平均値段	
一節	十二圓四十三錢
二節	十二圓四十二錢
三節	十二圓四十三錢
四節	十二圓四十三錢
五節	十二圓四十二錢

北濱だより

天頂知らずに品騰を呈して居つた相場も一朝挫折勢をぐるに至らば聯かの支障にて忽ちガラガラと崩るゝ事は申す迄もなき所…

利 仲買店

仁川米豆取引所仲買人

電話長九〇元 電信略號一六二五番

市場零聞

▲前場小變動

天候曇 昨日米の前寄は天候を見送らんとするものなきも大阪天候曇の報に當地十二圓四十八錢に寄付たるも後は手持より安物の出で一圓四十錢まで押し一段と値を崩したるが…

▲彼岸日和も無難

經過したる天候とて何れも强き押目を見ず前場は米價の割合に保合居れるの模樣なり

▲薄商内に新動機待

此處月末に際したる大阪市場は總じて薄商内に新動機を待ちつゝあり

▲前場の手振

(前場) 方⑦④各二千餘石 ⑤三千餘石 ④各二千石 買方⑦④各三千餘石 ③千石餘にて他は小口なり

▲市場續て閑散

月末に際したるも依然として閑散を續け居れり

▲氣迷ひ生ず

人氣は天候不良の模樣にて氣迷ひを生じ居る

▲力者の買に强硬

天候不良と有力者の買に强硬なる事を發表し取引所の買人は[illegible]

▲氣候と人氣

年々の彼岸中に天候の不良なるは…今年の彼岸日和も己に無難を見越され斯く本年の厄日も全部無難に經過したり是れ等大暴落を演じて商狀を齎らしたる

天候不良の持續に結實期に至つて尙且

精米筋は是れ皆天候の良好に依る結果に外ならず然るに當地は本月に入つて兎角天候不良開花時も暴風雨又は曇天にて凋冷の感ありしが今や結實期に至つて尙且天候不良の持續に大阪の軟弱冷の感あり斯る成行きにて…

一面正米界又品不足

一面正米界は品不足にて…

▲鎌入不足

…

草豊稔

…

内地に移出する數量大に減少

…

〔演藝案内〕

▲正誤 九月二十五日發行京城日報朝刊第四面藤原春子殿死亡會葬廣告中『親族總代安達茂藏』とあるは『安達茂作』の誤植に付訂正す

黃金館

天然色活動寫眞株式會社直營(朝鮮一手代理店) 電話一八五二(階上) 二六三七(階下)

○世界的大冒險大活劇第十名金第十八編地底の都第九回(里火)終編近づきて益々佳境に入る、人喰人種の捕虜となつたキャーの身は如何に、キャーは將來の犧牲となりあはや地底の都の人となるべき運命に接したとき怪人現れ來たり、キャー!何萬事休す!

▲帝國館特別大興行

大正館

櫻井町 電話八七三

○大冒險大活劇『歐洲戰亂線内實寫』(全五卷)古今未曾有の大戰爭の狀況を永遠に記念すべく企てたる此の實寫…

▲朝鮮新派劇元祖革新團林聖九一行

○新派連鎖劇『新春姫』…

御成座

御成町 電話一一九一

九月十七日より開演

有樂館

本町一丁目 電話二六六

日本活動寫眞株式會社特約

○探偵活劇『死の假面』(全四卷六千呎)…

○冒險活劇『死のダンス』…

○新派悲劇『神かくし』

○新派悲劇『九紋龍長次』…

▲尼上松之助一派出演…

▲川村大候作新派悲劇…

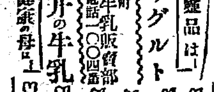
一十一才の奇蹟 吉田百々雀 吉田奈良子

公告

第三號

金浦郡陽村面所在樓山里草坪面積約武拾萬坪右草坪内ニ於ケル本年分生草反雜穀競爭入札ヲ以テ公賣ス望ノモノハ九月廿五日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルベシ

大正五年九月十八日 金浦郡



長壽靈品は「ヨッグルト」

京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番

「荒井の牛乳」 滋養と健康の母は

人蔘精は滋養強壯之大關なり

今直ニ服用あれ目前ニ其効を卓す

主治効能

神經衰弱 腦充血 ヒステリー 腎臟炎 ヒポコンデリー 貧血 頭痛 營養不良 偏頭痛 精力減退 眩暈 老衰 腦貧血

定價 八兎入 五十錢 十八兎入 壹圓 四十兎入 貳圓

各地有名な薬店ニ販賣ス

朝鮮總督府專賣局所管人蔘販賣所 製劑本舖 ツムラ人蔘部 京城本町通(明治町角) 電話一八七〇番 電略(ツ)又ハ(ツムラ)

●氣象 ▲警戒 風強かるべし ▲低氣壓位置朝鮮海峽 ▲低氣壓示度七百五十粍 ▲進…

廿七日	同	廿八日
廿八日	同	廿九日
廿九日	同	三十日
三十日	同	一日

▲[illegible] ▲物は[illegible] ▲天皇一日[illegible]

一週間以内に到着發見通告…十錢書籍券を呈す(但何書何號と明記に限る)

測候所 最高溫度 華氏七十九度四分 攝氏二十六度六分 最低溫度 華氏六十四度 攝氏十八度一分

(ひのとの申) 九月二十六日 舊八月二十日 日出 日入 彼岸 社日

宮本武藏

第百六十九回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

寺西閑心が大聲を發して止めた時に一橋如見齋振返つて 如『御邊は寺西閑心殿何故あつて止めさつしやる 閑『イヤ拙者が止めるのは餘の儀でない、見受くる所對手方は一人は少年一人は婦女子、殊に父の敵と名乘懸け尋常の勝負を望んで居る、然るを貴公無法にも大勢を以つて引包み、理非の差別もなく、之を討たんとする、武士にあるまじき卑怯の致方何故あつて尋常の立合をいたさん、當怯ではあるがとは何だ、卑怯といふ事を承知して居乍ら大勢で取巻いて討たうといふのか、イヤ呆れ果たる奴等だ、言語同斷人面獸心とは貴公の事だ、餘人は知らず此寺西閑心性來として爾ういふ事を見捨て聞捨てにはいたされぬ、宜し彌て大勢で取巻くといふなら取巻いて討て、斯いふ寺西閑心曲つた事は大嫌ひだに依つて乃公は向ふへ助太刀する、汝等何百人來つて取巻くともビクともす

の對手は長束一人ではないか、我々共が助太刀をするまでもない長束一人で對手とすれば濟む事だ、サア速に長束傳八郎を出して立會をさせなさい、若し先方に五人の助太刀があれば當方からも五人の助太刀を出して勝負をさせる、先方が十人出れば當方からも十人出す、人數は先方によつて幾程でも出せば宜い、決して大勢で取巻いて討つ事はならん 如『イヤそれは爾うだが寺西、先方の助太刀といふのが宮本だ、此奴仲々の技倆、大きな聲ではいはれぬが長束如きが三人や四人懸つても到底勝目はない若し傳八に間違があると拙者一分が立たなくなる、デ卑怯といへば卑怯かも知れないけれども茲は大勢で…… 閑『默れ、ナニ何んだと卑拙る者ではない、久しく血を塗らんに依つて刀の鞘に納まり工合が惡るい、サア彼奴此奴の差別はない片端から死人の山を築いて呉れる 如『まア〳〵寺西爾う貴公が怒つては困る 閑『怒るなといつても聞捨てにならん、アイヤ宮本氏とやらお騷ぎあるな、拙者がお手助けをいたす一百や二百は拙者が切るから』一同驚いた寺西閑心力は百人に及び、打物取つては無双の豪傑、關心虎島の船軍に加藤嘉明に隨つて敵船へ乘込み、帆柱を引抜いて振廻し一打に七八十人の敵を打殺したといふ大變な人物だ 爾ういふ豪傑が先方の味方になつて暴れ出されたては仕様がないから一橋如見齋も手甲摺つて 如『まア寺西短氣ではないか理の當然をいふのだ、さア其れとも長束を出して勝負させるか大勢で懸るか二つ一つの返答をしろ』と威長高になつて怒鳴つて居る、所へ大門口の方からワーッといふ鬨の聲、何事ならんと一同向ふを見ると白柄組の旗本、水野十郎左衞門、加賀爪甲斐守、同甚十郎、近藤登之助、兼松又四郎、坂部三十郎、池田勘兵衞、大久保彥六、松平軍十郎、山中源左衞門、同源内、久世三四郎、安孫子彌右衞門などゝいふ血氣壯んの連中四五十名、一刀の鍔を鳴らして此處へ乘込んで來た、ソレ白柄組が來たと一同が立騷ぐのを目にも懸けず尾張屋の店先へ乘込むと前に立つだる水野十郎左衞門 十『ヤア宮本氏一足遲かつた、洵に申譯がない、我々が此所へ乘込んだ以上假令對手が何百何千、黑鬼が鐵の馬に乘つて來たとて恐るに足らん片端から撫切りにして了ひます、サア猶豫なく其長束奴を討たしてお了ひなさい、妨げする奴等は白柄組一同が引受けた、ソレ各々』といふと一同〇『心得たり』と何れも一刀拔懸け、スワといはゞ撫切にといふ勢ひ、驚いたのは一橋如見齋はじめ一同の浪人、仲にも長束傳八眞青になつて慄へて了つた、寺西が 閑『サア什麽だ、返答次第で拙者の向付きたぞ、左樣心得ろ』と仁王立に突立つて居る、宮本は之を見て 武『ア、義心鐵石の如き寺西氏又白柄組御一統の助勢千萬忝じけない、サア傳八此上は逃るゝ所でない、速に孝子の刄に罹つて罪を滅ぼせ』と詰懸けられて、傳八郎進退谷まつた、如見齋最早免れんと思つたか 如『然らば各々の言葉に任せ傳八郎に勝負を致させるでござらう』

盛花家元　京城明治町本通　宗匠 春道齋　當分遣方の出敎授は申込を斷ます

京染　京都　たまや出張店　永楽町二丁目　電話二八九六　呉服

九月廿七日九星　舊九月朔日　丁卯　本命三碧　東破先負

▲三碧● 乘ぜられ迷惑を意味する日新事見合せ乾の方は吉暗劍東▲四綠● 思の透る日轉居入學命名弘川漁米職業井紙藥釀造業等皆吉▲五黄● 柔の姿へる事有日新事手控商事は吉 女子は心を美にもたるべし▲六白● 虫の好かぬ事有日新事手控商事は吉 衞生に注意せらるべし▲七赤● 一言口閉口する事ある日新事手控商事農業は妨なし▲八白● 願意の中にも間違を生ぜんとす新事手控商事は吉 行儀作法を守らるべし▲九紫● 公明正大の日轉居開業入學名弘命談求職探傭婚禮入試驗を受る等萬吉▲一白● 精進の日轉居開業入學名弘求臨建築金談婚禮娶子女を迎る等皆吉▲二黑● 押つけ主義の事ある日新事手控商事は吉 貸借の口入等せぬがよし

公告
至急看護婦ヲ募集ス希望者ハ履歴書携帶順化院ニ出頭セラルベシ
大正五年九月　京城府

りん病七日藥
日本政府專賣有權
化學療法百發百中
主治 慢性痳病●急性痳病●女子淋渇 膀胱加答兒●睾丸炎●尿道狭窄
本品は專門學者の發見せる強度の藥で胃腸を害せず忽ち微菌を殺し痳毒を除き頑固の症數年治らず時々再發百藥無効で困る人必ず一回試よ最新製藥迅速送るで但七日藥七日分以上發賣せず新聞名記入端書で申込あれ詳細通知す
大阪南區堺筋周防町南入　山口商會

京城龍山元町二丁目　舊民團前（電話一七番）
杉本齒科醫院
齒科醫學士 杉本蔚

小兒良藥　樋屋奇應丸
專治 소아의실신간질 급발성열증 等に奇効神の如し
到る處の藥店に有り
樋屋合資會社　大阪天滿橋

瀬戸皮膚科外科醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀬戸潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

直治スグ効のある目藥 水
トラホーム其他眼病諸症に特効あり
價十戔二十戔（点眼器付）
本舗 大阪東京 丹平商會
各藥店にあり

秋口の素肌の美を增し薄紅と自然の色艶麗き美人となる

朝 お顔をお洗になつた後　夕 お湯にお召になつた後

素肌へたゞ一二滴をお用ひ下さい

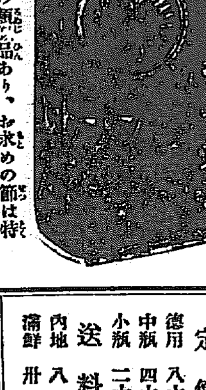
お化粧の時には白粉下の代りにお使ひ下されば、白粉のノリもノビも自由でその白さが殆んど生れつきの様な艶麗さになります、又紳士方はお髯をお剃りになつた後でお用ひ下されば剃刀マケを防ぎます

秋の家庭お化粧料 ホーカー液 をお忘れなく塗け遊ばせ

使へば使ふ程 皮膚の色艶を美しくし
螢光彩といふ學理上の作用でお化粧に一番恐しい 秋の日ヤケを完全に防ぎ
お化粧下、白粉のトキ水に使用して 白粉の塗榮を艶麗にする

代表的家庭美容料として東京、大阪を始め全國都市の貴婦人紳士方御子様方の御愛用を受けてゐる本品を博く皆様にお勧めいたします

姉妹化粧料
發賣以來ホーカー液と並んで評判最もよき新美容料配劑の濃化粧料
ホーカー白粉
塗けて自然の美しさを現はし、お化粧榮ゆのする本舗獨特の美容劑を多量に含んでゐて、塗く力強く、何方の肌にも適りと合つて、お化粧崩れせず、ノリノビ思ひの儘の美しいお化粧が出來ます。
定價、化粧用入一瓶金二十五錢、送料内地八錢滿鮮卅錢
手近の店に品切の節は直接切手代用又は振替にて御注文願上候



近時種々の類似品あり、お求めの節は特に『東京堀越嘉太郎』に御注意を乞ふ

ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカー美髪液　ホーカース井ート
本舗　東京和泉橋　堀越嘉太郎商店　振替東京一五六番

定價	
德用	八十錢
中瓶	四十錢
小瓶	二十錢
送料	
内地	八錢
滿鮮	卅錢

汽車

[illegible]

京城日報　第三版

廿六日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　廣告料　發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介　發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

大阪三品　大阪期米（廿五日）　仁川米豆取引所

▲展開未だし

支那の政爭

京城日報

支那の政爭が、益々激甚となり來りつゝあるは、最早明にして、曾て吾人の、早晩北京に於て、激烈なる政爭を、見るに至るべしとの豫言が、不幸にして、常中せんとするは、支那の爲洵に、悲まざるべからざる也。而も唐紹儀の上京を機とし、暗闘は漸く表面に現はれ來らんとす。

元來至難の大事として、目せられたる、南北妥協の如き、是れと云ふ具體的事實によりて、今日の結果を見しものに非ず、云はゞ有耶無耶の裡に成立したる、不自然の妥協にして、即ち南方側の主張通りにも非ず、北方側の讓歩にも非らざるが故に、或は今後の政爭を惹起するも、亦自然ならんか。

第一に問題の起るべきは、憲法制定なるべし。憲法は南北妥協綱領中の大懸案にして、又た主なる論爭點なり。故袁氏の、クーデター後に現はれたる、天壇憲法草案は、曾て進歩派が、一度手を觸れたる所にして、南方派の主張の如く、同草案を基礎として、新憲法を制定するや否は、各政黨の消長にも關する問題なれば、現在の國會に於て、此の爭論多き問題を議せば、議會內の問題たるに止らず、勢ひ外部にても、政權爭奪の具に供せらるに至るべし。即ち各政黨政派は、同問題を利用し、自派自黨の勢力擴張に、汲々たるべく、由來支那の政爭は、其の手段を選ばず、其の結果を收めんとするが常なれば、其の間意外の問題を惹起するは、世人の能く知る處なり。さなきだに內閣黨即ち、段祺瑞一派は、此の機會に於て、國會內に於ける一派と結び、益々南方派の壓迫を試み、彼の舊式軍人派の武人政治不干涉反對を利用し、一方時局を複雜ならしめ、其の間に、自派の地位を鞏めんとするの觀あり。唐紹儀を迎へたる南方派たるもの、亦之に備ふべき、對抗策を講ずるは勿論なるべし。更らに之等以外に於て、梁啓超派の如き、學究者と、政權野心家は、中央集權を主唱しつゝあるもの〻如し。中央集權はもとより、理論に於ては何人も異論なからんも、今日の支那實狀にして、果して之が適當なるや否は、最も研究を要すべき問題なるべし。若し一歩を誤てば、却て野心政治家の爲に、空しく政爭の道具に供せらるゝの危險なきにしも非ざるが故に、南方派は當然之に反對すべきも、北方派は其の裏面に於て、之をして南方武壓の魂膽たらしめんとするの、野心を包懷し居るもの〻如ければ、中央集權制の採否に就ても意外の政爭を惹起するに至るべし。而も此の導火線を爲すものは、無論國會內に於ける、憲法問題なりと云はざるべからず。之れのみならず、借款問題の如きも、各派の一致する處なりと雖も、倘此間政治的暗闘の潜在し、各派共劫に自家の手に出て、之を成立せしめんとするもの〻如ければ、案外複雜なる政爭問題と化するの虞なしとせず。此の如くにして、支那政界は、今後如何に變化するや、全く豫知す可らざるものあれば、隣邦の爲洵に悲むべきなり。

鐵自給策と製鐵所經營（三）

經濟研究會に於ける　押川製鐵所長官口述

製鐵原料と其產地

製鐵事業に第一必要なるものは、言ふまでもなく鐵鑛であるが、內地に於ては之が甚だ不足で、今日現に成立し居る釜石製鐵所丈けは釜石に存在する鐵鑛を以て事業を經營しつゝあるが、鑛量は幾何あるかは私が此處で申上げ兼ねるけれども釜石の當局者の言に依れば、先づ限りはないと申して居る。最初の間は釜石の製鐵所は銑鐵丈けを造つて居たが、近來に於ては極く普通の鋼鐵や棒類を造つて居る。造船材料とか橋梁の大きな材料は無論造つて居らぬ。其他に鑛石の存在して居るのは、只今まで調査の結果鑛量が相當にあらうと云ふのは矢張り製鐵所が自ら所有して居る越後の鑛山であるが、鑛量が餘計だと云つた所が、數百萬噸に過ぎない其他處々方々に鑛石は無いではないが、どうも今日までの經驗によれば製鐵所が購入の契約高丈けを持つて來ることは甚だ困難のやうである。尤も鑛石の種類に依ては契約高丈は持つて來る者もあるが、大體內地の鑛石は甚だ少ない。依て已むを得ず製鐵所の原料は支那若くば朝鮮に求めて居る。現今製鐵所は何處の原料をどの位使ふて居るかと云ふに、大體支那の鑛石が六分朝鮮の鑛石が四分通りで數量で申すと本年度購入の支那の鑛石は約二十七八萬噸より三十萬噸まで欲しいと思ふて居るが、果してそれ丈け取れるかどうかは疑問である。又朝鮮と契約して居る量は二十一萬噸計りである。支那の鑛石と朝鮮の鑛石との關係は、支那の鑛石は鐵の歩合が餘程良いが、溶鑛爐で之を溶かすには鎭南浦附近の或種類の鑛石を之に混ぜることが技術上最も適當であると云ふので、兩方から取つて居る。そこで製鐵所が今日所有して居る朝鮮大同江附近の載寧、殷栗の鐵山は幾何まで繼續するかは目下調査中でよく判らぬけれども、製鐵所の希望としては當に是等に止まらず、朝鮮には他にも澤山鐵鑛があるやうであるから、充分探究を遂げて其等のものをも使用したい考である。載寧と殷栗とでは所要額の二十一萬噸に達せぬ爲め安岳の鑛石をも用ひ、其他に滿川江附近の鑛石も少しは使つて居る。尚本年度より數年にかけて只今使ふて居る以上の數量を使ふて見たい。其他に朝鮮のものとしては咸鏡南道利原郡の鑛石も幾分用ひて居るが、第三期の擴張が完成すれば今日の數量では到底不足であるが、幸ひ支那と數回の契約に依て、餘程澤山な數量を取り得る考である。第三期の擴張、支那から取り得る鑛石の數量、並に銑鐵を取ることを契約してあるから、是等に依て先づ擴張に要する材料供給の途は大體立つて居る。出來得ることならば朝鮮よりも最少し多く數量を取りたい希望を以て折角只今朝鮮の鑛石に就て探究して居る譯である。

觀光外客招致策私見（八）

―經濟調査會の研究問題―

朝鮮ホテル支配人　猪原貞雄

▲新らしきホテルの經營法

私の考へるところでは今日ホテルの總てが經營難を唱ふるのは一にその建設資本の固定にあると思ひます資本の固定はまた季節が短かい爲め遊覽客の滯在日數が僅少なことに起因します其處で外人客を一日も長く滯留せしむるといふことが肝要となつて來ます、引留めるには料金の低廉なることゝ從前の趣きを變へてインターナショナル流とする事が必要です、また總ての衞生的設備や寢室の如きは最も注意を拂ひ建築裝飾の類は專ら日本趣味によつて淸新の氣味を加へマナーは全然西洋流とし外人の來集季節以外にありては邦人客の收容に努めたいと思ひます、また日本人には日本料理の食堂を設け一食五十錢乃至七十錢の日本食を出しまた西洋流では從來のターブルドートを廢しアラカルトシステムによつて淸新なる食料品を選んだならば頗る面白からうと思ひます且料金も米國式を排して歐洲式とし室料と食料を別にすればホテル自身も無駄を省き料金低廉にして餘程氣の利きたる經濟的な經營法を行ふ事が能きます又日本人としても中流以上の人は今日宿泊料茶代等に對し平均五圓乃至七八圓を支拂つて居ますから右の方法により一日五圓以內で泊めたならば双方共に便利にして日本旅館の弊害も同時に改良の實が擧らむかと思ひます、此事は實に時代の要求であつてホテル經營者自身も現に認めては居りますが客に充分の滿足を與へて一日四五圓で泊め調ゆる數でとなすといふとは從つて規模の大なるを要することとなるのであります

▲戰亂終熄後の外人觀光客に就て

這回の戰亂の結果日本に居て幾多の成金者を輩出せし如く米國に於ける成金者の如きは日本のそれに幾千倍の富を摑むで居ります、また歐洲に於ては戰死者の遺族が充分な手當を受けて有福となつて居りますから平和克復後これ等の人々が世界漫遊を試むべきは蓋し火を睹るよりも明かで大西洋を渡つた米人は必ず太平洋を經て歸るべくさすれば印度、西比利亞を經由して我國に來遊する觀光客は蓋し極めて多數であらうと思はれますから今から其の用意が肝要だらうと思はれます。それに就いて例も私の希望を申せば國民一般に外人客を氣持よく待遇してやるといふ事です。彼の世界の觀光客が集る瑞西では遊覽地の附近を通る時汽車は香華を低くし且遊覽者の出入する場所には子供などもなるべく立ち寄らぬ風になつて居ます。其の他商人も外人客に對し極めて親切です。然るに東洋の君子國なる我日本では何も外人客を珍らしがり相に取圍むだり大勢の人が嘲ずるやうな風があります、其處に行くと朝鮮では悠慨な風がない樣ですがこれは新聞などで絶えず世人の注意を促したならば直ぐに矯正されることゝ思ひます。併し中には往々日本の田舍で小學生に投げられたといつて非常に悅むで歸る外人もあります

萬里の長城

附 明の十三陵　　鐵楚桂

―七―

道の傍には礫石の破片散らばり、水溜れ〳〵の川があれば破壞し果てた大理石橋の宏大なりしが殘礎に其昔の俤を留めしおり、遊子の思ひを擾き亂す。驢馬を進めて水を渡り行けば、行く事十數町にして丘陵に差し掛れば道には石敷き詰められた右の畑地には巨大な柿の樹の累々と果を落けた儒昔を今に繁り茂つた間を拔けると行手に當つて柿の繁みから一二丈餘の城壁を隱見する。長陵の正門であつた。

乞食の樣な門衞が群りゐて一人前に元を出さねば門を開けぬと云ふ。何處も同じ例に據る事とは言へ亨ひ知れぬ不愉快な氣がしてならぬ。然し其不快も一歩門を潜ると共に、蒼松翠柏の鬱然たるに吸ひ取られてしまふ。右に立つ牌樓を後廻しにして進めば草生ひ瓦落ちた門樓がある。稜恩門と云ふ。門を過ぐれば稜恩殿の昔を語る黄瓦輝やかなれど草は叢を爲して茂り所々剝落して今は唯非常の跡を留むるのみ。東西卅餘間、南北十五間、殿中仄の暗い裡に一歩足を踏入れると突如彼方の隅より續けざまに大鷲を叩き倒りでもする樣な怪しげな叫び聲がする。僟ゐて食を求むる驢馬である。伽藍堂とした大殿裡高さ五丈と稱せらるゝ楠の大柱三十二基林立し、中央には明成祖文皇帝との金文字を記した神位据ゑられ神嚴の氣自ら湧く。

後、小門を更に北すれば圓丘上に鬱蒼する檜樹林を脊にして大門樓立つ門を潜り未だ全く行かざるに左して側面に出で更に側道を樓上に登る。中央に大なる大理石碑あり『明成祖文皇帝』の六字を刻す。碑の左右樓壁を爲す石壁の壁面に例に依つて例の如く遊覽參詣人の記念を錄した落書がある。姓名最も多く支那人、日本人、歐米人の諸多の書體が蟹行雁行してゐる。詩もある。一詩に曰く

可稱可賀我中華。自古千年樹東亞。聖賢博士屆指記。中華啓球爲第一。

民國五年六月廿日　王桂合女人
遊陵中棟梁

聞寂として聲なき陵中耳を澄せば陰々として五百年來の衰亡の歴史が何事かを囁やいてゐる。

と突然何處とも無くドーンと拳銃でも放つた樣な音がした。唯夫れぎりである。何事ぞと傍の案內人を顧みれば『瓦が落ちて來るんだ』と言ひ放つてキヨトンとしてる。五百年間棟上に据られてゐた瓦が漸く悠うして地に歸つて行くのだ。何萬何千枚の瓦が用ゐられてあるか知れないが五百年間に幾枚落ちたか知れない。此大樓門今はもう修理する人も無く一歩々々無窮に向ひ滅亡に近づいて行く許りだ。亡びた者の骸を埋められたる家陵には雕草樹生ゆるに任せ伸びるに委してある。秋漸く繁からんとする今は虫聲頻に悲愁の曲を奏でてゐるが、春ともなれば百鳥來鳴き往り昔の榮華を頌しもしやふ。

蹊を分け十陵頭の頂上に立てば百餘の諸陵指呼の裡に在り石人石獸斷片の如く小春日に照らし出され和平眠れるよりも靜かである。

茲に諸陵を眺めて往古を弔ふ我れも三日の後には南東の方京城に去つて今を思ひ出の裡に眺め入るであらう

―完―

金剛觀（下）

呂圭亨

五絶三十首呈宗以文寄齋公

木之幻如是　蹲忽然如鳳翩　欄案斷復續　異○是名萬物肖　塞○因○動○者○機○　功○神○也○非○戲○劇○　水○性○不○住○如○許○　泄○本○地○常○　峯○醉○白○野○　折○既○逝○復○回○顧○　急○處○雷○霆○吼○　舟○處○淺○虹○梁○　潤○處○架○虹○梁○　鎗○四○散○如○布○　外○山○八○潭○高○　融○水○觀○盡○於○斯　山○僻○言○蛇○獸○　壁○似○絕○腥○羶○味○　人○道○是○佛○國○　佛○道○千○億○觀○音○變○　人○道○是○仙○區○　鶴○媚○々○音○有○餘○　我○擬○全○家○到○　遣○擬○潤○飲○而○木○食○　佛○或○爲○我○證○　果○証○卜○現○生○因○　結○想○七○十○年○　眼○變○々○一○枝○筆○　書○乃○畫○不○成○　寄○謂○君○署○省○識○

石亦象萬千　影曦直更倒　靜○者○均○效○積○　非○要○藥○仙○去○　側○謨○水○去○路○　徐○處○環○珮○鏘○　歧○處○驟○雨○衍○　斯○內○山○萬○壑○奇○　似○消○鬱○悍○氣○　莫○根○佛○不○現○　莫○許○仙○不○居○　于○茲○托○棲○息○　仙○或○許○我○隣○　御○風○句○五○日○　說○又○說○不○得○

忽然如獅　應想而出　造物施才　能善又能　百山又千　深處可方　中盈如鳴　窈冥絕思　水長無魚　一石一箇　風外聞笙　登高而望　未諳夙世　忿々兩隻　演就六十

公告

京城地方法院

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

● 京城府瑞麟洞參拾四番地
一 垈七拾七坪
最低競賣價額金壹千貳百參拾貳圓也
右地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪拾參坪九合七勺
附屬木造瓦葺平家建壹棟
建坪拾貳坪八合貳勺五才
最低競賣價額金七拾壹圓也
右 競賣申立人 釘本藤次郎
　 不動產所有者 木尾虎之助

● 京城府孝子洞六拾七番地
一 垈參拾壹坪
最低競賣價額金壹百五圓也
右地上ニ建設
一 木造草葺平家建本家壹棟
建坪八坪參合五才
最低競賣價額金八圓也
右 競賣申立人 宋星鎭
　 不動產所有者 李星七

● 京城府南大門通四丁目貳拾八番地
一 垈七拾參坪
最低競賣價額金貳千九百貳拾圓也
右地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪貳拾四坪四合八勺
附屬木造瓦葺二階建
此建坪拾五坪九合貳勺五才
外二階坪四坪九合貳勺五才
最低競賣價額金四百六拾貳圓也
右 競賣申立人 富來祥
　 不動產所有者 李永國

● 京城府安國洞七拾五番地
一 垈壹百五拾貳坪
最低競賣價額金九百拾貳圓也
右地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪參拾四坪四合
一 木造瓦葺平家建壹棟
建坪拾七坪壹勺五才
附屬木造草葺平家建壹棟
建坪五坪五合
最低競賣價額金貳百六拾壹圓也
右 競賣申立人 洪忠鉉
　 不動產所有者 安晩濟

● 京城府元町三丁目參拾六番地
一 垈七拾九坪
最低競賣價額金參百拾參圓五拾錢也
右地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪拾六坪五合
最低競賣價額金壹百貳拾四圓也
一 所在 京城府大島町百四拾七番地
木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪貳拾參坪參合壹勺
最低競賣價額金四百六拾圓也
一 垈九拾坪
最低競賣價額金九拾貳圓也
右 競賣申立人 日韓殖產會社
　 不動產所有者 川本準作

● 京城府勸農洞壹百貳拾參番地
一 垈參拾四坪
最低競賣價額金八拾五圓也
右地上ニ建設
一 木造草葺平家建本家壹棟
建坪拾五坪九合貳勺五才
最低競賣價額金參拾參圓五拾錢也
右 競賣申立人 白士謙
　 不動產所有者 鄭寅寬

● 京城府壽昌洞九拾六番地
一 垈四拾四坪
最低競賣價額金參百五拾貳圓也
右地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪貳拾參坪四合四勺五才
最低競賣價額金參百四拾九圓也
右 競賣申立人 梁時
　 不動產所有者 朱德淳

● 京城府雲泥洞拾九番地
一 垈百拾參坪
最低競賣價額金七百九拾壹圓也
右地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪參拾六坪四合
最低競賣價額金貳百參拾六圓也
右 競賣申立人 樋下田仙藏
　 不動產所有者 金衡圭

以上競賣期日ハ大正五年拾月四日午前拾時トス

簿記生徒募集（短期卒業）
卒業後は銀行會社商店等へ確實に就職紹介す規則書要二錢
京城本町二丁目　京城簿記專修學館

京城專修學校教官　安達大壽計著
新刊　受驗必携
朝鮮行政法規大意　續篇　定價四十錢　送料金四錢
本書は嚮に發行し嘖々たる好評を博せる朝鮮行政法規大意の續篇として專ら試驗問題に適切なる重要事項の全部を網羅し之に當局者の方針に則り極めて懇切明確なる模範的の解答を施したるものなれば、判任見習の受驗者は必ず前篇と共に之を準備に供せられんことを祈る、殊に司法法規及警察法規は特に之を詳述し、警察官並に裁判所書記志望者の便に資せり。
發行元　京城本町一丁目　振替京城一五七三　大阪屋號書店

現代婦人　十月號出　毎號好評　價格低廉
女は臺所を本城とせよ…嘉悦孝子
コレラに就ての注意…醫學士 川村鈞一
連載　家庭小說　繪具皿…德田秋聲
　　　歷史小說　妙海尼…三島霜川
娘のしつけ方…道家道子
現代婦人に與ふる警告…宮田修
子供と食物研究…藤倉つゆ
石鹼の效用と色々の研究…長谷川藥劑士
眼眉睫毛の美育…藤波芙蓉
子供に與ふる小遣錢…細井糸子
嬰兒を失ひ死に瀕せしお產の經驗
新しき女を罵る…木村應太郎
男子の貞操に就て
定價十五錢　東京京橋　女子文壇　振替一七一二九番

女學世界　十月號
寶話　鬼の嫁…不如歸
▲昔の婦人の氣質の研究…大寺證信
▲新婦人自活法…カーチス夫人
▲女賢屋經營の三ケ年間…林喜代子
妖性物語　妬婦傳…橘朝夢
△近視眼の治療法…井上豊太郎
▲學校生活　三年前の手帖…阪東美智惠
▲九死に一生を得た病院生活の思出
長篇小說　南國の女…小上司小劍
▲烈しい勞働に堪ゆる志願の選女
▲家庭小說　未だ見ぬ親（連載）…老牧師
▲學校生活『梅花の徽章』…神月禮子
感想　砂の塔…與謝野晶子
▲何故美しくならぬかとの質問に答へて
▲教訓小話　賢女の口紅…小峯相
▲修養日誌『紐かとみ』
長篇小說　女優（大好評連載）…田村俊子
東京本町　博文館

純國產　黑色防腐防銹塗料
ラントリオ　アストリ
鐵鋼木材の防銹防腐に偉大の效力を有し外國品を凌駕す價格頗る低廉經濟的塗料なり「カタログ」等御申込に應じ送呈す
東京市芝區新櫻田町十七番地（電話新橋二九四一番）
新潟化學工業所東京出張所
內國及海外各地に販賣店を有す

日韓書房　新版報告
谷崎潤一郎著　刺青　定價九十五錢　送料十錢
日露戰役紀念　露國研究　定價一圓　送料十二錢
桑木嚴翼著　哲學五流 其他辨及　定價一圓二十錢　送料十錢
長田幹彥著　紅夢集　定價九十五錢　送料十錢
小栗風葉著　青春　定價一圓五十錢　送料十二錢
京城本町二丁目　電話一四五五　振替口座一一二五番

警官養成
就職が早く確實な職は警官あるのみ▼內地、臺灣、朝鮮、支那及外國にて就職せられ▼目下警察中本會の講義錄で學べば受驗に合格確實なり▲合格者續出　問及講師は警察界の專門大家である▼青年及在郷軍人諸君の大福音▼直に入會して大成を期せよ　會則見本無料進呈
東京芝公園　警成協會

邦人と知りつゝ發砲

匪賊襲撃事件＝目下調査中

既電の如く二十二日午前六時二百の匪賊撫順の支那巡警局を襲ひ交戰一時間半其の際見物し居りし邦人一名流彈の爲め負傷せしが邦人は其の後死亡したり該事件に就き其の後聞くところに依れば交戰の際支那巡警は邦人と知りながら故さら發砲せし形跡あるより總領事館にては目下調査中なりと（奉天特電）

同志會決議事項

總務會並に常議員會開會

同志會にては二十五日午前九時三十分より本部に於て總務會開會加藤總理を初め若槻、安達、片岡、肥塚、坂口の五總務、濱口政務調査會長、富田幹事長等出席從來合同問題に關し非公式に交渉の任に當れる濱口、安達兩氏より合同問題の經過を報告したる後常議員會に附議すべき諸問事項たる（一）合同問題の經過報告（二）合同問題に對する賛否（三）新黨組織に關する成立準備委員選定の件を可決したり右終つて引續き午前十一時より常議員會開會加藤總理を初め各常議員各總務各幹事等出席肥塚總務座長席に著き富田幹事長より開會の挨拶あり次で加藤總理は今日の大勢に鑑み與黨三派の合同は機宜に適せる所置なり就ては左記決議案を提出すべければ賛同を希望する旨を述べ倘新政黨樹立に就ては現內閣の更迭と關聯するが如く噂する者ある由なるも與黨合同の事たる昨年總選擧以來今日迄繼續せる問題にして何等現內閣に關係なし故に此の點に就ては諸君の惑なからん事を望む時に地方に於ても此の疑念を解かるゝ樣盡力あらん事を望むと述べ終つて二三の質問あり滿場一致左の決議案を承認し散會せり（東京特電）

決議事項

（一）本會は協同一致合同に參加し新政黨を組織する事

（二）新政黨組織に關する他派との交渉は交渉委員を選定し之に委任する事

（三）右交渉濟の上は同一委員に新政黨組織の準備を囑託する事

（四）右委員の員數及選擧を行ふ事

評議員會

交渉委員決定

同志會にては二十五日午後二時より更に評議員會を開き加藤總理以下出席者百五十四餘名鹿島秀麿氏座長席に著き開會を宣し次で加藤總理は滿場の拍手に迎へられ登壇合同問題に關する顛末報告並に之れに對する意見を述べ次で議事に移り午前の常議員會に於て可決したる決議事項を附議し滿場一致之を可決し夫れより交渉委員の選擧に移りたるが右に關しては總理に一任する事に決し之亦異議なく可決其れより一同帝國ホテルに於ける加藤總理の招待會に赴けり尚總理指名の合同交渉委員は安達謙藏、濱口雄幸、富田幸次郎の三氏

英軍航空隊の成効

敵飛行機戰列を離れて降下す

二十三日英軍航空隊の一大活動行はれたり即ち英軍飛行機五十臺は敵の重要なる一鐵道聯絡地點を襲撃し著しき成功を收め同地點に多大の損害を與へ彈藥列車二列を破壞し幾多猛烈なる爆發を惹起せしめたり尚ほ英軍飛行隊は敵の鐵道工場飛行滑走場及び其の他軍事上の重要地點を襲撃し同じく大成功を收め其他幾多の空中戰鬪に於て敵軍飛行機三臺を破壞し五臺を射落し又は損害を被らしめ尚多數の飛行機は戰列を離れて急遽降下するを見受けたり（倫敦電報）

敵を塹壕に追込む

二十三日夕刻發表ヘーグ將軍の公報に曰く我軍はアンクル河の南方各所に於て敵の分遣隊を其の塹壕中に追ひ込み同時に我が陣地を改善したり尚前日敵軍前線一部を砲擊中十箇所の敵軍塹壕の破壞せるを見受けたるが他の十四箇所の塹壕も亦甚だしき損害を被り五箇所の彈藥庫は爆發したり二十三日我が砲兵隊は敵軍が從來軍需品の供給及び輸送の爲め使用せる一村落に一大火災を起さしめたり（倫敦電報）

遣露宮殿下大本營御訪問

遣露宮隨行長內山大將より宮內省に報告せし殿下莫斯科御著大本營御訪問の御模樣に關する電報の要領を窺ふに『殿下には二十四日午後零時三十分大本營所在地に御安著停車場には露國皇帝陛下皇太子殿下御出迎あり殿下には直ちにグオルギー太公殿下を御同乘隨員を從へさせられ自動車にて大本營に向はせらる』（東京特電）

在鄕軍人へ訓示

大島陸相、加藤海相は二十五日在鄕軍人一般に對し左の訓示を發せり（東京特電）

宇內の大勢と東洋の狀態とに依りて稽ふれば帝國官民は夙夜精勵大に國運の隆興に贊襄せざるべからず近時歐洲戰亂は國民皆兵の事實を證し軍人思想の愈々鞏固に濔るの必要を瞭にす夫れ在鄕軍人は擧國皆兵の貞幹にして國家富强の中堅なり勤儉を旨とし文弱に流れず士道を重んじ武事を尊び產を始め業を興し軍隊敎育の本義を貫徹し富國强兵の基礎を堅實にし上は優渥なる聖旨に對へ下は同胞の倚信に副ひ以て軍人の本分を全ふせんことを期すべし

外交官の異動

二十五日左の如く外交官の異動あり（東京特電）

大使館一等書記官　大島富士太郎
任大使館參事官（二等）
佛國在勤被仰付

外務書記官　沼野安太郎
任名譽領事（四等）

領事　矢田七太郎
任大使館三等書記官（五等）

外務書記官　松永直吉
任領事（五等）

領事　赤塚正助
廣東在勤被免奉天在勤被仰付

中村議員辭任

岩手縣多額納稅議員中村治兵衞氏は辭表提出中の處二十五日聽許ありたり（東京特電）

浦鹽新航路の增發

原田朝郵社長談

昨年以來內地及び朝鮮より浦鹽に仕向くる軍需品並びに一般商品は非常の增加にて最近の如き各港の堆貨は少なからざるものあり朝郵浦鹽航路の就航船平壤忠淸二隻の如き常に滿船なれど多大の積み殘しを見る事往々あり會社が今回下の關より一千二百噸の汽船竹丸を傭入し九月末若くは十月初めより浦鹽新航路を增發せんとするは明年一月の浦鹽港結氷封鎖前夥しき堆貨を一掃せんとする爲也而して增發航路は釜山浦鹽間たるが竹丸は總督府の命令航路たる下の關浦鹽線に就航せしめ從前の釜山浦鹽自由航路には船型小なる忠淸丸を當しむる事となすべし唯朝郵現行の運賃は非常に低廉にて到底多額の傭船料を支拂ひて一艘を借入れ採算出來得べくもあらず少なくも十二月末迄の三ケ月間に新航路を開きたる故一萬圓の損失は覺悟し居れど軍需品其他の輸送を全からしむるは止むを得ず尤も本年は北滿大豆の出來榮へ優良に付追々浦鹽を通じて歐洲方面へ其の出荷を見るべく加ふるに露領出稼ぎ支那人の歸還乘船多數に上れば稍々其の損害を補ひ得べきかとも考へ居れり尚ほ運賃の引上げは諸種の事情上今日に於て實行し難しと云々

醸金徵集決定

京城神社の經費

京城神社の醸出金徵集方法に就ては本年度の當番たる第三區の氏子總代中にて調査したる後二十二日開會の大總代會に於て報告する所ありたるが既報の某總代の意見とは多少相違したる結果を見たるを以て更に其確定せる徵集方法を報道せんと本年の醸出金徵集は組合の課金と神社費總額との比例を取り一圓につき二錢六厘を割當て或町は八十圓或町は二十圓と云ふが如く豫定したる後其町內に割當られたる分擔額を其町總代の手に依て便宜加減し徵集することに申合せたるものなり然れども中には本町二丁目南山町二丁目の如く從來衞生費又は其の他の名目にて既に積立金を有し居るが如き町內にありては別に町內氏子の寄附を求めず此積立金より支出することになるべしと而して之を各町の平均割合に見るに本町一二丁目又は大和町の如きは一戶平均五十錢內外となり蓬萊町櫻井町の如きは一戶七八錢の割合となる模樣なり尚本年は昨年の如く市中の殷賑なる可き催しなきを以て特に來る十七日の例祭を盛大に行はんとし來る二十七日午後三時より商業會議所に於て各氏子總代を召集し前記の醸出金徵集方法の決定及び祭典に關し各町の催物等に付き協議すべし

アガ式瓦斯製造所

仁川月尾島に遞信局にて建設中なる燈臺用アガ式瓦斯製造所は愈々近く竣工する由なるが岡本電氣課長は器械試運轉見分の爲め更に二十二日下仁二十九日歸京の筈尚ほ該製造所の建設には約一萬三千圓を投じたりと

軍經理部長檢査

朝鮮軍經理部長瀨戶主計監は二十六日北川主計正を隨へ北鮮各部隊經理檢查の爲め出張し十月二十九日歸任の豫定なりと

佐渡氏露領行

嚢に露都へ出張多數の軍需品の契約をなし歸社せる朝鮮皮革會社佐渡取締役は今回又復露國沿海州の商況視察の爲め二十六日永登浦出發元山港を經て浦鹽へ向ふ可し

川田氏嚴父の訃

朝鮮郵船株式會社文書課長川田治一氏嚴父は過般來病氣療養中なりしが去る十八日郷里新潟縣新發田にて逝去せり爲めに二十五日歸任の筈なりし同氏は多少延期すべしと

南言北語

久原と云へば誰れも知らぬ人はなかろうが其の久原の仕り方が又た島渡他人の眞似の出來ぬ處がある▲正親町季董男と云つても餘り人も知るまいが千家文相時代其の下に秘書をして居た人だ▲此の人が今度さる人の紹介で久原の會社に入社した▲久原社長は早速男を呼んで『君一つ親善と云ふ名義で露西亞へ行つて呉れ給へ、無論何もせんでよい金が要るなら幾らでも支店から引出して貰ひたいブラ〳〵と遊んで來て呉れゝば可い』▲何うも意味が分らぬので男も聊か迷つたが他人からは大に羨まれた▲其何故なるかを聞くと『俺の店ではお前樣を遊ばせて置く』と露國の取引先へ廣告する手段だとの事▲久原でなければ出來ぬ藝當だが廣告でも斯ふ云ふ廣告なら希望者は嘸多からう▲石井外相は持々ハイカラの樣に聞へるが其の生活と來たら衞生不衞生を通り越して居るが▲病氣などは精神的にヤツ付ける主義で行けば苦も無く驅逐する事が出來ると云つて居る▲成る程外相は大學時代にも肺病らしかつたが一切構はず猛烈な勉强してヘト〳〵になる迄身體を使ひ却て至極の壯健になつた相な▲洋人流の神經過敏は斷じて養木堂君は此頃自ら別號を作つて書劍堂と云つて居る▲其の譯は先日其刀劍を殘らず賣つて了つて今では押繪だけ手許に殘つて居るからだとサ

湖南遊歷（一）

無佛居士談

▲湖南線に入る

湖南線地方が米產の中心地で朝鮮の寶庫と云ふ事は豫々吾輩も耳にして居たが、居常俗務匆忙未だ遂に一回も同方面に旅行する機會を得なかつた、所が今回東拓の野田副總裁から全羅南北及び忠淸南道に於ける稻毛の檢分に行くから同行しやうと云ふお勸めを受け殆んど大塊副總裁に腕を捉られて視察の途に就いた次第だが『お蔭で吾輩も稻作の實地的優劣を大塊老より聊さか學び得た、尤も其の程度も黃金色が上作白色は不作田の面の黑きは糯米と云ふ位の程度ではある……それは兎に角此の行に依り世評の如く湖南沿線地方が朝鮮寶庫の稱を辱しめぬ事を知り得た次第である

話しの順序として旅程を語らう、僕等は全州方面に先づ乘込む筈であつたが最近水害の爲め全裡輕鐵の不通な事を知つたから、俄に之れを變更して先づ光州に志し光州より吾輩は木浦へ野田氏は榮山浦へ下車更に翌日兩人は羅州で落合ひ一路全州に向ひ茲で再たび分れて吾輩は群山に向ひ副總裁は裡里より直ちに江景へそこで又此所で一所になり二十一日歸京した次第である十六日午後大田で全羅守謙谷農銀支店長其の他諸氏の送迎を受け、湖南線に乘り換ふると移り行く沿線の風物は吾輩に目新らしかつた、汽車が連山驛を出ると、論山平野が左右に遠く開け黃金色の田の面は穰々として此の秋の豐年を語つてゐる、大塊老は此の作柄を見て喜悅斜ならず『僕ア櫻の花を觀るよりコン黃金色を眺むるのが一番嬉しい』と云ふ勢ひ、吾輩も玆に一詩なかるべからず乃ち

路出連山沃野開。稻波千里一眸來。行々地勢將漸迫。當面蘆嶺雲嵬々。

湖南線は三道の平野を貫いてゐる乃ち錦江流域たる忠南の論山江景平野、萬頃江東津江二流域の全北の沃野、第三に榮山江の流域をなせる全南羅州平野だが此の三平野を湖南線が一直線に通つてゐるのは面白い、それに平野の地形や趣きも多少宛異なつてゐる、江景平野と全南の平野は水田の中に畑も見え山も近い所にあるけれど全北の大平野は往昔は湖底にあつたらしいと云はれる位の山は遠く四顧蒼茫で目に入るものは盡く水田沼澤である一詩あり

水路縱橫灌漑豐。三州沃野一線通。黃雲千里秋將酣。人往南鮮寶庫中。

大田より裡里まで不湖に農場を經營する熊本利平氏と同車し、其の營農談を愉快に拜聽した。

前舞鶴町長以下有罪

［illegible］

石渡高女校長逝去

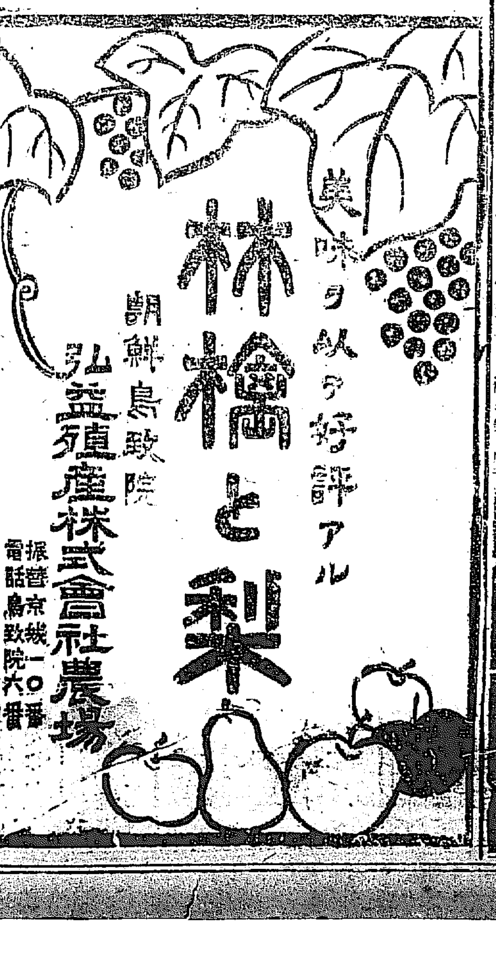
大阪府立堺高等女學校長石渡松氏は［illegible］

て尠く市場頗る閑散にして無條件［illegible］トル最低六厘にて低下せるも取引僅［illegible］の如きは前報せる如く旬末［illegible］低とし旬末三億九千六百萬圓となり［illegible］三億九千二百萬圓を最［illegible］す難からず［illegible］旬に於ては一時［illegible］を呈することあらんも越月後は［illegible］他對外關係の債撒が外資流入の勢［illegible］を增進すべきが故に金融の大勢は依［illegible］し銀行業者は荷爲替の受拂に忙殺せ［illegible］らるゝの感あり（二十一日大阪支局より）

［illegible］となり明後は小石を以て興雲の頭部を亂打し治療二週間を要する創傷を［illegible］に達し一日一人平均三合［illegible］餘也と

少年　十月號
東京時事新報社の二大雜誌
定價各十六錢郵稅一錢
意外!! 地雷火發見
大嶋將軍を始め佐藤少將石川大類兩博士の談話
鄭家屯に於ける松尾中尉の奮鬪
口繪

少女
特別大懸賞新題
立太子式奉祝學藝會
見よ錦上花を添ふる原色版口繪「秋の日」



奇絕怪絕造化の幻術一誌に集まる
學生別刊
世界不思議號
先づ眼を目次に曝せ！

▽不可思議論……主筆　大町桂月
可河捕虜百萬……川村大將
二日間世界一週……長岡中將
一千億圓の軍資……後藤男爵
焦熱地獄……山脇春樹
新發明空中水雷……大河內博士
二萬の數の蚊帳……池田敬八
無限の石原……橫井博士
黑闇々の秘密國……小村侯爵
穴居民の百萬……岡野博士
一夜作大數水晶宮……加藤博士
表紙三色版口繪三色版十二葉
寫眞版十六葉挿畫百二十四
海底の鑛山……井上博士
大仕掛の珍興行……佐伯博士
深海底の眞珠狩……三山博士
火を吐く水……山川博士
海底の山返鐵道……中山博士
人魚海坊主七頭蛇……［illegible］作博士
倫敦塔……コツクス講師
大古の金の入齒……和田垣博士
草で作つた兎……寺野博士
衆の背の砲臺……政尾博士
猫と牛のミイラ……村川博士
鐵少女の慘刑……大塲博士
爽陰たる竹堂……大類博士
隱見自在の彫湖……沼田中子爵
雲中の巨人……松本博士
千五百歲の巨木……松村博士
夜半の太陽……黑板博士
火星の運河……橫山博士
原始的植物……山內博士
五十里の長廊下……塚本博士
靑き堂の神秘……林伯爵
三色の秘密島……原博士
沙漠の蜃氣樓……中村博士
千里の敵……伊東博士
無敵の動物……飯塚博士
世界一の名馬……津野博士
水平線下の國……鑄田榮吉
三日降の雨……岡田博士
水中の大森林……本多博士
直徑三尺の巨花……伊藤博士
海濱の武裝樹……岸上博士
世界最高の樂木……三宅博士
自夜の奇觀……八杉教授
◇本號の懸賞當選發表

定價金二十錢　本號に限　郵稅二錢
東京神田　富山房　振替五〇一

休養の夏
はや過ぎて
長夜燈下の勉學には無二の良友！
涼秋戶外の活動には絕好の件侶！
森永ミルクキャラメル
ポケット用　大廿個　小十個

煙草代用
5—16
森永製菓株式會社

[illegible]の文書[illegible]事件は二十五日豫審終結[illegible]決定したり(大阪特電)

大阪にては九月中旬資金の移動極め[illegible]清長は前旬末前者は三億九千八百萬[illegible]券發行高並に貸出高の一千萬圓を最高とし旬末八百萬圓[illegible]せるに見るも大勢に變化なきを推測[illegible]八千萬圓の發行は或は一兩月[illegible]現することあらんも貿易上の出超其[illegible]實てし所謂大相場時代を現實にするに[illegible]至れり從て現物の賣買頗る盛況を呈[illegible]

[illegible]解雇を求めたるも同人は負債あるため興云は之れを拒絶したるより爭論

[illegible]開始したるが廿日迄の救助延人員は一萬六千八百九十五人施米は六十石

虎列拉妙藥 百中鹽物語

三人の妾を前世は暴れ馬と觀破した名人

材料は辛いもの盡し=發明者は料理屋の外交部長

京城居住鮮人吳三柱(三八)と云ふ男が此の程百中鹽と稱する虎列拉豫防藥を發見した此の藥を一度香めば如何に虎列拉が流行しても毫末感染の憂ひなきのみならず萬病即座に治ると云は餘ツ程眉唾ものだが時節柄の

▼お慰みまで に御披露に及ぶと憑うである此の男は平安南道の成川と云ふ片田舍に生れたのだが何んでも非常に豪い者に成らうと云ふ目的で五歲の春家出した以來二十年間掛りで支那十八省四百餘州朝鮮十三道を股に掛けて放浪の旅を續けて其の間に深山幽谷の中で仙人に逢つたり怪物と一緒に暮らしたりして人相學と醫藥學の極致を究め拔いた先生の言ふ處に依れば何んでも藥と云ふものは十人十色に調合しなければ効能は無い即ち當の病人の前世の生活狀態を明らかに知らなければ其の人の

▼五臟六腑に シックリ合ふやうな藥は拵へられないと云ふのだ今では同一に見ゆる人間でも前世は犬であつた奴も猿の奴も蛙の奴も居つたのだから矢張り現世でも蛙の生れ變りには東萊草を鍊つた藥犬から解へつて來た者には牛肉が一番よく利くと云ふやうな道理だと理屈を付けて其處が人相觀だけに此奴は前の世が何んだから斯う云ふ藥が良いと云ふやうな風で百發百中病氣は立處に治ると云ふ評判である京城へ入つてからの吳三柱は朝鮮料理屋大華館の外交部長となり貴族實業家などの內房に出入して三世觀相運命判斷萬病即治投藥と云ふのを行つて居つた、何んでも本人の自慢話を聞くと京城の

▼某貴族の妾 達が三人連れで下女姿に變裝して何れも子宮病の投藥を乞ふた處が先生一見して此奴等は三人共前世、悍れ馬であつたして見るとこれは駻馬の生れ變りのやうに下女で納つて居る譯はない必定何者かの妾に相違あるまいと觀破して爾來非常の好評を博して居るが此度仁川に虎疫猖獗を極め京城にも愈々發生し始めたと云ふので三柱先生今度と云ふ今度こそ乃公の腕前を現して一世に高名を馳せなければ成らぬと云ふので二晩三晩寢づに考へ込だ揚句發明したと云ふ虎列拉豫防劑百中鹽の製法は

▼極秘である が其の主要成分は唐辛一斗生薑一斗大蒜一斗胡椒一斗食鹽五斗其他世の中に在りとあらゆる辛い物を集めたものに水五斗を入れ一晝夜の間ドン〳〵煮詰めると其れが濃い粘液となる其れを大きな洋盃に一杯宛香むと虎列拉の病菌は素より吞み過ぎると人間の命だつて何うなるか知れたものぢやあないと云ふ妙藥を發明し早速意見書を添へて警務總監部へ防疫劑として屆出たさうであるがいゝあんばいに褒められたかどうだか

鑛山大火災

秋田縣鹿角郡尾去澤三菱鑛山に大火あり損害高六十萬圓に達せり(東京電話)

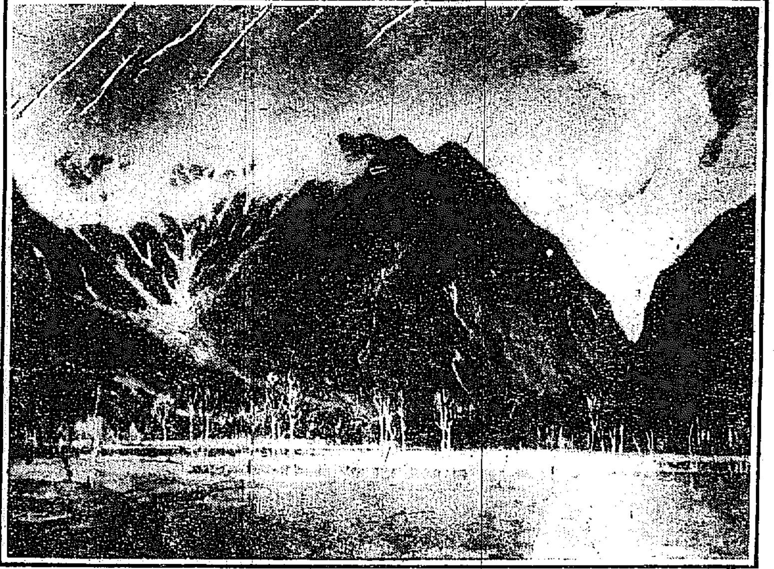
皮膚病の新藥 松浦博士發見

京大醫科皮膚病毒科部長松浦博士は近く皮膚病新藥を發見しピチロールと命名して大學病院は勿論廣く醫家藥劑師にも頒つことゝせり新藥ピチロールは齋癬疥疣標疽田蟲蜂毒蟲其他總ての皮膚病に効あり博士は新藥の

▲成績發表をすと從來皮膚病藥として醫家に用ひたるテール、イヒチオール、ツメノール、アントラソール硫黃クヅロビン、沃土ホルム、キセロホルム等の諸種貴重藥品を盡く代表して而かも其効力に於て讓る所なきのみならず其の最も優秀の點は前記諸藥の有する不潔なる副作用をピチロールは獨り之を有せず又前記皮膚病以外に疼痛を速かに止め表皮形成作用を速かにして良肉芽を新生して

▲瘢痕の治癒 を速かに促すと強き殺菌蟲力ある等の特効ありと此新案を如何にして發見せしかと云ふに博士は昨年九月頑固なる癬に罹りたるより種々藥品を用ひて自ら療法の試驗をなしたる結果米糠の油よりピチロールを發見するに至りしなりと最初博士は自身で糠油の精製を試みしに頗る良好なるより大學病院の片岡藥局長と相談し病院藥局にて之を製し博士の敎室に來る患者に用ひて

▲幾多の試驗 實驗の末前記の成績を報告するに至れり而して特許局に特許を得ると同時に京都新藥堂に於て製出し醫家の需要に應ずる事とせり博士は此新藥の特長を擧げて治遮速にして價値廉く間遮ひし處へ塗るも害なく原料を外國に仰ぐ必要なき事等を數へたり(大阪)



秋の文展(五) ―上高地の夏― 中川八郎筆

李王家 祕苑觀覽禁止

李王家にては虎疫流行の兆あるを以て二十五日より終熄まで當分の間一般人の祕苑の觀覽を禁止したるが隨つて動、植物園の觀覽も許されぬ事となれり

本社主催 京龍市中巡回防疫大講演

二十六日午前九時講演自動車隊本社出發

京城神社秋季例祭執行 出來るだけ賑かにする豫定

京城神社にては十月十六日より十八日まで執行する秋季例祭が近づき來れるより今年の當番たる氏子總代に於ては昨年共進會當時に執行せる例祭に劣らず盛大ならしむべく目下寄々協議中なるが近日中に決定すべく祭典費は今年は公平を期するため學校組合費賦課率を標準として各戶に割當つる筈にてその割當額の多きは本町筋にて少なきは古市町三坂通りの二三錢なりと

一人で三人前 虎列拉で影響せる各官廳の執務振り

仁川に於ける虎列拉蔓延の結果は各方面に非常なる打擊を與へて居るが諸官衙公署も手痛い影響を蒙つて居るから堪らぬ先づ第一が警察署で應援隊を合して二百數十の警官が晝夜間斷なく活動しても尚猛烈な傳播力を有つた虎疫に打勝たれない者と見えて日と共に猖獗の度を加へて行くので

▲何れも奔命に 疲れて居るのであるから虎疫が終熄を告げた曉は御大典後多くの警官が神經衰弱になつたり發狂した樣に一時に肉體も精神も弛緩して斃れねば宜いがと心配する者が多い樣である、府廳も矢張直接當面の責任上宛然火の車の樣である府吏員中隔離された者が尠く共三分の一以上に達して居る上に救護班や其他の不時の辻事が増した爲め手が八本あつても足らず

▲夜は十二時迄 居殘りした揚句日曜すら全員出勤せねばならぬ始末なので何れも神經衰弱になつて居る更らに人の話さへ耳鳴りがして聞かれぬと言つて居る其他の官衙公署も官吏が交通遮斷をされて居るので此れも矢張り三分の一以上の缺勤者があるであらうから申告件數とか取扱物が平素より少いにしても一人で三人前の仕事を片付けて行かねばならぬので何れも可愛い子供の顏を一週間も見ぬとか日がいつ暮れたか少しも解らぬとかで血眼になつて執務して居る

コレラ彙報

▲方魚津 慶南方魚津には虎疫益々猖獗を極め二十二日午後八時迄に疑似患者八名の內二名は出漁中に死亡したるが何れも眞正と確定したり二十三日午後迄の累計は二十三名となれり(釜山)

▲各官衙の警戒 總督府にては虎疫豫防の爲め二十五日より正門は勿論各通行門に多數の水盤を並べ除毒藥を之れに滲ぜしめ見張らしめて職員訪問者の別なく一々注意を與へて洗手勵行せしめ又た構內は二十四日大消毒を行ひたる上各課各室の入口毎に昇汞水を盛れる洗面器を備へ消毒を勵行せしめ居れるが[illegible]官署も亦之れに準じて其の豫防消毒に遺憾なき期し[illegible]銀行會社等に於ても洗滌其他の方法に依り夫れ〳〵細菌の滅絶に努め居れり

▲漁船に疑似發生 漁船七十隻交通遮斷

香川縣[illegible]町大寺[illegible]之進(三[illegible])は十五日出漁の爲め[illegible]を發し二十二日午後四時頃釜山入神牧の島に碇泊せし以來[illegible]港內見[illegible]は直に規定の如く巡回[illegible]二十三日[illegible]より嚴しく取調べたるに[illegible]發見せしかば午後七時釜山署[illegible]部小島部長は檢疫醫某警醫同伴を從へ檢疫の結果疑似虎列拉と認めたるが同患者は二十三日午後九時遂に死亡せり然るに同患者の排泄物は[illegible]て海中に投棄せるを以て釜山署にては直に漁船を召集なし[illegible]洲御渡船場より[illegible]間に停泊せる漁船全部七十餘隻に對し嚴重に交通遮斷を行ふ筈に同船舶に海水の使用を禁ぜると共に飲料水の供給は[illegible]棧橋の給水船を主とせる上水を給水する事とせり(釜山)

▲婦風會の活動 婦風會釜山支部に於ては副支部長楠本乘長、朴榮吉兩氏は二十三日午後各洞合ノ虎疫豫防に關し各洞首事に命じ首事は各々二十戶宛の區域を分擔し一日兩三回必ず各戶を巡回し衛生上につき充分に注意を與ふる事となせり(釜山)

▲京畿道 二十三日夜京畿道金浦郡陽東面驛村里に一名同面下谷里に一名コレラ疑似患者發生せり、發病者は永登浦停車場より約一里下谷里は一里半を隔つる交通頻繁の場所なり

▲醫生召集 京城鍾路警察署にては二十六日パゴダ公園に管內居住の醫生約三百名を召集し虎疫豫防に就き訓話すべしと

● 京城神社氏子總代會 京城神社氏子總代會を來る廿七日午後三時より本町三丁目清香園に於て開き秋季大祭に就き打合せを爲す由

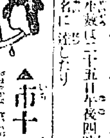
▲臨時衛生組合 京城鍾路警察署管內にては虎疫防遏の爲め道內を七十區に分劃し臨時衛生組合を組織し各組に區長一名副區長一名を選び二十五日夜是等正副百四十名を同署に召集して任命の上組織の趣旨其他につき松井署長より訓示する所ありたり

▲仁川開校延期 仁川府に於ける各學校は二十二日より休校し二十八日開校の筈なりしも虎疫終熄するに至らざるより二十五日各學校長協議の結果更に三週間の延期をなしたり

▲馬山に二名發生 二十五日馬山貨山面に鮮人虎列拉患者二名發生せり(釜山)

▲疑似患者は眞正 二十四日疑似患者として收容せし牧之島の漁夫は二十五日眞正虎列拉と確定せり(釜山)

▲仁川二百十八名 仁川に於ける虎疫發生數は二十五日午後四時迄の報告にて二百十八名に達したり



▲市十郎開演 大阪名代市川市十郎一座は愈々近日中に京城に乘り込み二十九日を初日として[illegible]座に開演する筈なるが同優は本年七十餘歲の老齡を提げて初お見得に渡鮮する譯なれば一世一代として車輪に働くべく而して左團次一派の座にある同名の市十郎は同人の實子にして二代目を譲りたるものにして東西の俳優組合に親子二人の市十郎があるわけなり

◇五絃琵琶を聽く

雨の降る晩[illegible]聽衆が少なかつたのは所謂名人連の演奏に氣の毒であつた、當夜器樂は總て五絃琵琶を用ひた

回前田旭心、高田の馬場は撥の亂れるのは不愉快を語つてる、辭は惡くないが故意にふるはすのは聽き苦るしい、高田の馬場の如きは今少しく和潤たる氣合を要する

回井上胡蝶、錦琵琶の調子とは通じなくてはならぬが、元來錦琵は筑前と薩摩の餘音も無い樣に調子を高くして金切り聲を張上げて歌はれては聽衆の耳を塞がすべきものでない、辭句が有り餘るからと言つて[illegible]させる丈けで愛惡の餘裕もなく少しも落著いて聞かれない、彈法は餘程上達したが何分調子が矢駄權に高いので無暗に騷々しい、而も一本調子で錆がない丈け味がない、檍中佐を歌つて居て感潤入の文句が飛び出すなどては困つた名人だ

回東原旭陽、川中島は器樂の調子と聲がシツクリ合つてる錆のある聲は落着があつて好し節はあまり技巧に落ちはせぬが今少し歌の持つてる氣分を呑み込んで詞章と節とを結びつける樣に心掛けるべきだ、彈法の巧妙は好いが少し撫り過ぎる

回江頭旭米、始めて聞いた人、遲度、歌ひ振り共に重々しく此人至つて紙發した欠伸を止め得た、新曲と銘打つた檀の浦の平家の美しい終末が水調子の琵琶の音の沈痛な響となつた耳朶に通つて來る、只難を言へば語尾のナゲヤりである、一工夫を要する(紋阿彌)

馬賊襲來 激戰一時間半

二十二日午前六時二十分突然宗社黨と稱する馬賊金胡蝶の部下百三十名撫順巡警局を襲ひ放火し激戰一時間半餘に亘り彈丸附屬地に落下し危險なるより守備隊警察にて停戰を命じ賊は東西に潰走せり支那巡警側にも馬賊側にも死傷あり見物中の日本人一名流彈に中り重傷を負ひ生命危篤に陷れり知事は張督軍に對し騎兵の出動を電請せり(撫順)

新荷著 冬物大賣出し

九月廿五日より廿九日まで

京城明治町 唐川吳服店 電話二六一番

夜間撮影仕り候

寫眞

御家庭御撮影の節は迅速出張可仕候

京城永樂町二丁目 赤門寫眞館 電話二八三二番取次

可愛い御子方の

むし氣、かん、ちゝ乳つ、ひきつけ 夜なき等の妙藥

小兒に宇津の救命丸

本舗 下野鹽谷郡高根澤 宇津本店

東京麹町區飯田町 宇津出張店

藥價 十錢、二十錢、三十錢、五十錢 一圓、二圓、三圓、四圓、五圓

紅夢樓主人新著(大好評忽再版)

成金榮華物語

正價六十錢 送料六錢

歐洲大亂の影響は端に幾多の成金を出しつゝありと雖も、赤手空拳一躍巨萬の財を掴んで、風流豪奢、波瀾萬疊、天馬空を行くが如き行動に世界萬人の羨望を一身に集めたる時代の寵兒木編主人公の如き蓋し空前絕後?

看よ!皮肉痛快にして華やかなる大々成金の面影

讀め!自ら險難を排し財を積み富を得んとする人

○此際前金にて直接申込者に限り送費無料、切手代用一割增

○後金はハガキにて申込次第代金引替にて發送す但小包料を要す

發兌 東京神田猿樂町二ノ三番 新興社出版部 振替口座東京三三六五四番

和洋ストーブ一式 煙突製造 ストーブ据付 板硝子ペイント塗料

京城本町二丁目(電話[illegible]番) 岩見伊勢松商店

稻扱機 無煙風呂釜 手押用動力用ポンプ

籾乾燥裝置 消火器 噴霧器

籾摺機 無煙ストーブ 濾過機

說明書差上可申候

諸機械工具商 東京市京橋區三十郎町十一 工業商會

コレラの豫防に 殺菌力石炭酸に十倍せる

アイゼル液

傳染病研究所の檢査成績 千倍溶液にてもコレラ菌を五分間に殺滅す

(各藥店にて販賣す) (目下續々著荷)

鑛山營業

各種礦石買入 重石買入

▲鑛物定量分析 ▲鑛山測量製圖

Ⓚ 金石商會

京城鐘路二丁目九九番地 電話一八九九番

くすりは山岸

諸官衙御用達

洋藥賣藥卸問屋

醫療及試驗器械

懇切叮嚀、迅速確實、に市內配達及び地方通信販賣致居候

京城本町一丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話[illegible]

熱心誠實に事務を取扱ふ

辯護士 從五位 堀池常作

事務所 大邱府[illegible]町

女鳩

渡邊默禪

「二五」松明の火

月は夜半でなければ上らぬ。空の所々に少し積雲が殘つてゐたけれども、凍りついたやうに動かなかつた。その餘地から紺青の宇宙の姿が見れて、天使の美しい瞳かと想ふばかり、大きな星と星とが冷熱の光を瞬かせてゐた。寒いことは寒いけれど息づかぬ空氣のそんなに慘酷な觸覺を與へぬのに、晝のうちはいくらか緻かだつた雪が、もう水晶のやうにがた〱と凍つてゐたので、歩くには便がよかつた。

小屋から今日の獵場までには、一直線に谷を渉るとしても七八町はあつた。大野は先に立つて松明を翳しながら、出前川へ下りて向ふ岸へ上つて、急傾斜の坂を落葉松の邸へと進んで行つた。道には今日みんなが往復した足痕が殘つてゐた。

『お嬢さん。住江さんから來た手紙を御覽になりましたか』大野は思ひ出したやうに途中で問ひかけた。

『はア、見ました』

『どんなことが書いてありました』

『いゝえ、別段……』

『變つたことがありませんかね』

鳩子は斯う答へたが、實は自分にもその答が慊らなく思はれた。彼樣に自分に同情してくれる温かい心の義人に對しては、一家の秘密も恥辱も無い筈である。打明けて相談したならば、實際に採るべき正しい考を與へてくれるであらう。縱令それだけの導者となつてくれずとも、只だ慰められたゞけでよい。此人に慰められるといふことが、どのくらゐ自分の力になり希望になるか知れぬのである。さうして今の苦しい煩悶から解脱したならば自然精神も沈着いて自分に相應しい分別がつく。と斯う思つて見たけれども、まだ父にも話さないことを、第三者の人に打明けるのが果して善いことだらうか、とも危ぶまれたので、それなり默つて了つた。

大野も二の句を繼かずに默つて大股に雪を踏んだ。軈て十五六歩も行くと、鳩子は堪りかねた樣子で『大野さん』と突然に呼んだ。

『はい』勇は振回つて佇んだ。

父に話せないやうな苦しい事柄であるから、他の人に話す必要があるのだ。信頼すべき人に訴へるのが何で悪からう、と彼女は斯う決斷したのであつた。

『あの、實はね。住江の手紙に大變なことが書いてありましたのよ。それで私し、先刻から煩悶してるんです』立停つて衛なげに太息を吐いた。

『爾うでせう』勇は點頭いた。『貴女がその手紙を御覽になつてる所を僕がちよいと覗いたんです。彼の時に……さうしたら貴女は慌てゝ眼をお拭きになつたぢやありませんか。僕は何か餘程、貴女の心を刺戟するやうな消息が來たんだと、斯う想像してゐました。何ですか、大變なことゝは』

『もう〱お話もできないやうな恐しい、恐ろしいことなんです』

『どうぞお話し下さい。僕は誓て申上げました通り、堅つて貴女や御家庭の秘密を口外するやうなとは爲ません』

『有難うよ』鳩子は睫毛に涙を滲ませて心もち首を下げながら、衣兜から手紙の讀殼を出した。『ちよつと目を通して下さいましな』

『何です』

勇は樹の根の雪に腰を卸してその手紙を讀み始めた。鳩子は傍から松明を翳してやつた。

一呼吸に讀み了つて、ひよいと擡げた勇の顔色を見ると、眶も彈切れるばかりに緊張してゐた。

婦人科 產科 二宮醫院 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 電話一二〇一番

廻讀會員募集 新古書籍交換規定● 圖書雜誌販賣規定呈 振替京城三九〇四 京城本町一 電一三七八 松榮堂書店

公州山城吟社句録
（九月十五日夜於花柳莊）

雁鳥の巣立ち野分の朝の晴れ　友洙
明方の船床に月斜なる　同
明月に榾拾ひたる小徑哉　同
明方や湖に羽搏く雁晴し　同
急に召す四位の太守や月の宴　公堂
萩の寺に完結す避暑の日記哉　同
名月の磯の松原汽車過ぐる　孤秋
もの蔭に野鴨追ひ込む野分哉　斎石
宵祐漏れて煮物のこげ臭し　同
隧道を出づれば高し海の月　同
電信の不通となりし野分哉　神岳
學寮や萩細工山となりたかし　同
温突の壁紙古りぬ打つ砧　不醉
野分する畑建築列車の搖ぎ　如風
山上の松の碑閣や萩の花　同
鐵橋に汽車すれ違ふ月下哉　同
離船の帆柱暗し雁の聲　同
浦々の潮滿ちたり月今宵　同
月今宵狸の眠淺きかな　同
倭寇史を繙く秋の月更けぬ　同
書筆未だ一家を成さず庭の萩　雨村
月見寺道危きを喞ちけり　同
月に對し金を論ずると勿れ　同
名月の下に更けたり田舍町　同
スコモスに亂るゝ鳩も野分哉　无香
大那須野萩に放ちて野馬の群　同
雁や砂丘に長き人の影　同
名月や梧の香漲る山の莊　同
名月や更けたる火桶參らする　同
はゝき木の影ゝ人や月今宵　同
明月や燭せは髣る銀屏風　同
名月に端居かしこき法主哉　同
ひき絡むる皷の紐や月今宵　同
名月に何煮てゐるや主厨長　同
萩に媚び蝶鐵に撒る月見哉　同
堊廟の棟に鳩なく野分哉　鳥兎
哀歌うたふ邑の酒幕や宵砧　同
とこ〱萩赤き丘や石器探る　同

新刊紹介

▲自由講座（創刊號）實驗心理に關する各種の興味ある研究を發表せる雜誌にて本號には催眠の心理、催眠心理、催眠學原理、疾病の根本原因としての忘念、手唄の原理と其發展、變態としての迷信、心靈の不可思議現象、死後の透視等を收め傍催眠術法詳解を附録す斎雜誌界に一新生面を開拓せるものと云ふべし（五十錢大阪市北區曾根崎中一實驗心理研究所）

▲帝國文壇（九月號）小說講談篇詩篇歌等の選擢當選者漫畫の通信教授雜誌（定價不詳東京市、橋區長崎町一の一二其社）

▲菲（九月號）井上七段講話の名手實戰講六局あり其他棋例（十八錢大阪市東區今橋五の一四圍碁研究會）

▲英語の日本（九月號）受驗參考英作文談話及び英文作詞研究等の外隨筆の八雜人ドの詩等を收む（十二錢東京市神田區表神保町建文館）

▲正則中學講義録　第二十六回新學期開講に際し入會金を全免し其他種々の特典を設け入會者の便を圖れり（會費月五十錢東京市神田區駿河臺袋町大日本國民中學會）

▲養鷄指針（九月號）養鷄專門家には異種雌雄の配合と鷄卵に就てあり副業的家庭養鷄としては實用的家庭飼養法、副業奨勵を勸む等あり（九錢大阪市南區生野國分町四二重枝養鷄園）

▲警務彙報（九月號）論說には朝鮮に於ける司法行政に就てあり例規には鄙決處分取扱に關する件、虎疫豫防に關する件、民籍事務取扱に關する件等あり（十五錢朝鮮總督府警務總監部）

▲市町村雜誌（九月號）行政資料欄の官有地の登記取扱方に關する件、戸籍及び寄留事務取扱方の昭義の件除生欄の人口衛生の整理等の外如例（十錢東京市芝區田村町六其社）

▲東京藥種貿易商報（二四一）五錢東京市日本橋區本石町四の一七其社

▲嗜好（九月號）六錢東京市京橋區銀座二の六明治屋

▲小學生（十月號）上品で、いやみのない少年雜誌です記事にも面白くて有益なものを選んでありマす（八錢東京府東京エビス文教社）

●立太子式奉祝唱歌　少年世界、少女世界にて懸賞募集中なりし上記唱歌の應募數は約一萬篇に上り目下、上田、幸田、佐々木三博士、小松學習院教官及び巖谷小波氏五名の手にて嚴正選定中なるが、佳作も非常に多く本月末日までには愈々決定の上作曲を附し、文部省の檢定濟として、發表し當日奉祝式の間に合はすことを期すべしと

●寫眞小說謎のヴアイオリン　實業の日本社の少女畫報では、今回劇化極りなき有名な大作を完成し『謎のヴアイオリン』と名づけ八月號から連載して居ます。今其梗概をいふと音樂好きの綾子が道具屋から古いヴアイオリンを買つた處、それが非常に好い音色であつたので綾子は大に喜び、音樂會で彈奏しました。すると綾子は忽ち夢心地になつて、伊太利の秘曲を奏し聽衆を驚かしてゐる、と、綾子の心は夢に遊んで、此樂器のもとの持主であつた伊太利の少女に逢ひ、少女の身の上話を聞いてゐる。夢から覺めた綾子は、樂器の胴から發見した謎を繰へて伊太利に遊び、遂に或伯爵の後援を得て、謎によつて凡ての秘曲を得て歸朝するといふ今までに例のない精巧な寫眞であります。

●乳素石鹸及び洗粉　牛乳の人體皮膚の營養に共美化に卓絶の効あるは夙に世に知られたる處なるが東京府下助川牛乳場の製造に成る乳素（ニウソ）石鹸及び乳素（ニウソ）洗粉は豐富なる牛乳の石鹸にして酸質遊離の有害物を含有せざるが爲頗る衛生に適し皮膚の營養を助け婦人の美容用として理想的の化粧品なるが朝鮮總代理店に於て販賣せり（京城市內は電話五二番へ注文せば直に配達する由）

京日案內

普通二十錢（一回前金一行五錢）番外六十錢（一回前金一行五錢）▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

看護婦募集　派出多忙に付き至急　明治町二丁目　惠愛看護婦會　295

產婆　大和町一丁目四十五　小林カツ　電話一一五五番

預けたし　本年七月生男子極々健全の子供預けたし希望者至急御通知を乞ふ　京城本町一ノ三　電話二六三六　大正社　286

高等外交的手腕ある社員招聘　鮮人を不問要保證人　履歷書携帶　京城大和町二ノ四八　朝鮮寫眞通信社　294

英國製拾二番二連銃附屬品一切安價にて讓る御希望の方は電話一千〇十六番へ　288

貸家　商店向　京城鍾路日拔の場所　電話電燈水道付（姓名在社）　28

古本熱心高價買入　御報參上　是非御試を乞ふ　△本町四　電話二七八一番　△井口群書堂　211

松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す　▲光州加藤自働車運輸部

店員入用　十六歳以上　確實なる保證人を要す　蓬萊町一〇六七　▲三巳酒造場　284

古本類は此際非常高價買受申候　本町二電二五二七　ウツボヤ書籍店　165

古樂器買受　オルガン、バヰオリン、琵琶、樂器一切　本町二電二五二七　ウツボヤ書籍店　165

番外

外務監督補招聘　但官吏又は曾て外務監督の辭令ありし者俸給（五十圓迄）旅費支給面談堅く午前中京城明治町二ノ一〇五（郵便局側）東海生命相互會社朝鮮監督所　189

外交員入用　二十五歳以上　市內確實なる要保證人　本町二丁目　電二四五三　吉田洋服店　291

女店員入用　至急　小學校卒業者年齢十八歳以上　市內に確實なる保證人を要す　京城本町一丁目　津村弟兄商會　290

インデアン自働自轉車　七馬力半　讓渡し御希望の方は京城永樂町一丁目商品陳列館前半丁程上る西中途物　293

外務員招聘　社交的手腕有る紳士を招聘す　給料其他面談履歷書持參すべし　京城長谷川町九十一番地　電話二二五番　帝國公債信託株式會社支部　192

△南山町二丁目　松岡醫院　電話六七五番　松岡倍七　287

看護婦及見習看護婦女藥局生各數名至急入用　希望者は履歷書携帶來談あれ但し京仁間に保證人を要す　仁川高木病院　272

京城春川間行自働車賃金片道四圓　每日午前八時出發　南大門通一丁目　廣橋自働車　電話二一九番　春主務　金正淵　195

金庫　喞筒　優秀ナル商品ノ提供ハ信用アル築店ノ生命ナリ　熊平支店　長電六二四番　振替京城三二番

子宮病の血の道とリウマチスに惱む人は

彼れ是と迷ふ無く眞に能く効く神痂湯を

即刻試みよ現に……
烈しき神經痛で惱みし人
頑る難治のリウマチスの人
數年固疾の疝氣で苦しみし人
百法効なき子宮病の婦人
常に悲しむ血の道の婦人
多年惱めるヒステリーの人
不治の慢性胃腸らめしき人

などが此良藥神痂湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉さの餘り懇篤な禮狀（現在保存）を寄らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく即刻試よ神痂湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有り

軀質改良劑

●こんな徵候の人
胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、睾丸等つり、腫れ、しびれ又は筋張痛●彼處此處と移動し●何となく怠く●腹張差込●腹なり胸つかゐ●溜飲●食進まず又は進過ぎ●便秘又は下痢●寒氣●逆上●血眼●目暈●耳鳴●頭痛●齒痛●頭重く肩凝●腹に力なく●腰足冷へ●夜眠られず●氣鬱●癇高ぶり薄らぎ記憶あしく●物事に感じ易く●顔手足の浮腫等
疝氣、リウマチス、神經痛、胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に惱む人は片時も早く神痂湯を試みよ

價藥　十週廿五錢●二週六十錢●三週一圓●五週二圓五十錢●十週五圓●試用分十錢●廿錢

本舖　名古屋市東區京町二丁目　藥種問屋　荒川長太郎　電話四千百二十七番　振替口座東京一二四三番　大阪三一九五番

汽船釜山出帆廣告

○立神丸　門司、神戸、大阪行　月日後五時出帆
○立山丸　元山、清津、浦鹽行　月日後十時出帆
○元山丸　小倉丸　元山、城津、浦鹽行　月日後十時出帆
○第三琴平丸　元山、西湖、新浦、城津、清津行　月日後六時出帆
○第三琴平丸　門司、宇品、神戸、大阪行　月日後六時出帆
○住吉丸　須奈、嚴原、壹岐、博多行　日後六時出帆
○天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

第二共同丸　○芝罘、大連行　九月二十九日後四時入港　十月一日正午出帆（關東都督府命令航路）
朝鮮鐵道主要驛にて神戸大連行の連絡切符を發賣す
第一阪鶴丸　○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）
○西湖津沿岸各港を經て雄基行　月日後九時出帆
第三共同丸　元山出帆　月日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社　本町二丁目（電話一〇八番）
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

大邱浦項間自動車時間

大邱發　浦項着
大邱出張所　電話一二七番
大塚農場自動車部

金泉醴泉間自動車時間

金泉發　醴泉着
金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

御會葬御禮

今井一男
今井敏郎

大阪屋號書店

京城本町　電話六八、二〇八六　振替京城一二五七

新刊書御案內

書名　著者　定價
ワオード社會學　市森新三譯　一、五〇
大韻文語法と口語法　大野德吉、井上守助　一、五〇
日本美術史講話　黑田鵬心　一、八〇
獨乙文法辭典　片山正雄　二、五〇
詳解佛蘭西文典　折竹錫　一、五〇
一喝禪　中原鄧州　九〇
改訂新聞想　三宅雪嶺　一、六〇
自由思想史　大住嘯風　一、二〇
處世禪　丸山小洋　六〇
哲學五流辨及其他　桑木嚴翼　一、三〇
家庭看病法　大隅和子　八〇
新題川柳名句集　佐藤紅綠　八〇
人生向上悟りの道　渡邊霞亭　九〇
後の嚴窟王　高安月郊　八〇
世間學　淡六　九五
刺青　谷崎潤一郎　九五
人生之快樂　大町桂月　一、二〇
愛の栞　三島霜川　一、〇〇
最新朝鮮地質鑛產地圖　朝鮮鑛業研究會　八〇
新流歌集　添田啞蟬坊　三〇
朝鮮人の衣食住　村上唯吉　二、五〇

日本郵船仁川出帆

○相模丸　大連、大沽、牛莊行　十月九日　正午出帆
○高砂丸　十月十九日　正午出帆
○三河丸　九月廿八日　正午出帆
仁川港町一丁目　堀回漕店

尼崎汽船仁川出帆

○君が代丸　群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行　十月三日後四時出帆
○大有丸　九月四日後四時出帆
○神代丸　九月一日後四時出帆
○秀吉丸　九月三十日後四時出帆
仁川港町一丁目　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

○金剛丸　京城丸　黃海丸　成鏡丸　門司より釜山各港寄港航路　釜山發
○江陵丸　咸陽丸　元山より浦項寄港　元山發
○愛德丸　永興丸　元山發
○三浦丸　長承浦、巨文島寄港　釜山發
○海州丸　○統營丸　○巨濟丸　○慶興丸　毎日　釜山發
○順天丸　慶興丸　木浦發
○公州丸　宗信丸　江原丸　仁川發
京城代理店　本町　松原運送店

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、門司、神戸大阪行　九月四日
○安東縣　十月一日　後五時出帆
○須磨丸　信濃川丸　木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行　後二時出帆
○福州丸　群山、釜山、横濱行　後二時出帆
○天草丸　大連行　正午出帆
○安平丸　宮島丸　上海、基隆、打狗行（大連出帆）　後四時出帆
京城切符發賣所　大阪商船會社　仁川支店

商況

大阪株式特電

和歌山　合同新株　鐘淵新株　同上新株　二十五日後場　一二三、九〇　一二七、〇〇　一九四、〇〇

下關期米特電

二十五日後場　一五三、四〇　一五二、八〇　一五二、三〇　一五二、〇〇

▲後場の手振り